

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

看護学研究科看護学専攻修士課程（以下、本研究科という）では、看護学部（平成 30（2018）年 4 月開設）の第 1 回生が卒業する令和 4（2022）年 4 月に開設する。その理由は、一般に看護系大学院は実務経験者の入学を前提としていることが多いが、看護学も専門職業として学問としてさらに発展し続けるには他の学問分野と同様に、学部を卒業すると同時に引き続き大学院で学び続けたい者、すなわち、継続的に研究基礎力をさらに磨きたい者にも道を拓きたいとの趣旨からである。

常磐大学（以下、本学という）の位置する茨城県の中央部（県央地域）は、他の 4 地域（県北地域、県西地域、県南地域、鹿行地域）に囲まれており、電車または車でアクセスしやすい便利な立地条件を備えている。県内の修士課程を有する看護系大学は 3 校しかなく、そのうち 2 校（公立）は県南地域に、1 校（私立）は県北地域に偏在しており、本学が立地している県央地域にはまだない〔資料 1：県地図上に図示〕。

本研究科の設置に際しては、設置準備委員会メンバーによる聞き取りのニーズ調査と第三者機関による質問紙ニーズ調査を実施した。前者においては、聞き取りを実施した 18 施設はこれまでは遠いことを理由に大学院への進学をためらう職員や遠方への進学を理由に退職する職員がいたことから、いずれの施設も利便性のよい本学に研究科が開設されることを高く評価し、期待を寄せていた〔資料 2/表 1〕。また、後者においては、本学看護学部の学生（2・3 年生）169 人（第 1 回生 84 人、第 2 回生 85 人）と県内の看護職者 2,095 人から有効回答を得た。その結果、「開設初年度に受験したい」が学部生 7 人、現看護職者 7 人、の合計 14 人、「将来、必要に応じて受験したい」が学部生 23 人、現看護職者 312 人の合計 335 人という結果であった。

さらに、水戸市長および茨城県看護協会長からも将来の予測不能な問題にも果敢に挑戦し、新しい戦略を立案できる質の高い看護力を有する人材を養成していくことに高い期待が寄せられている〔資料 3：要望書（水戸市長、茨城県看護協会長）〕。

入学定員設定の考え方については、上記の背景や調査結果を踏まえつつ、以下の 2 点についても考慮した。第一に、院生への研究指導はきめ細かなものにするために複数指導体制とすること、第二に、本研究科の人的および環境的資源の面から十分な教育の場と機会を与えられるようにすることである。これらを総合的に勘案したうえで、入学定員 6 人（収容定員 12 人）と設定していることから、定員の充足については、十分に見込むことができると考える。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学では、県内 18 カ所の保健医療施設の看護幹部職員への聞き取りによるニーズ調査と併せて、定員充足の根拠となる客観的なデータの収集を目的として、第三者機関による現看護職者および在学生（2,3 年生）へのアンケート調査を行った。概要についてはそれぞれ以下のとおりである。

ア. 聞き取りによるニーズ調査

[資料 1] [資料 2]

本研究科を構想するにあたり、その必要性や本学への期待を具体的に検討することを目的として、聞き取りによるニーズ調査を実施した。

- ◆ 調査期間 : 令和 2(2020)年 2 月～3 月
- ◆ 調査対象 : 県内の一般病床数 100 床以上かつ調査の同意を得られた保健医療施設 18 カ所の看護幹部職員
- ◆ 調査方法 : 聞き取りによる調査
- ◆ 調査内容 : ニーズ調査項目全 7 項目
- ◆ 調査件数 : 18 カ所 (36 名)

調査の結果、大学院への進学への推奨、職員のニーズについては、「大学院に通う者が 1 人か 2 人ずつくらいいいたら良いと思う」「1 年に 1 名の希望者は出せるのではないか」「遠隔授業システムがあれば進学を希望する者はいると思う」「身近にあればニーズはあると思う」「大学院への進学希望者は増えている傾向にある」「大学院が病院から近い場所に来ることはメリットだと思う。病院側としても、距離が近いと何かあったときにはサポートしやすいので安心して送り出せる」「夜勤専門の看護師であれば、日中は大学院での研究活動が可能となるのでそういった看護師に是非勧めたい」「大学院で学びたいと思っているスタッフは多くいると思う」「師長や主任になった者の多くから看護管理について学びたいという声がある」「管理者候補となり得る若手のスタッフには是非大学院に行って、文献検索や問題の解決方法等を修得して欲しい」等の生の声が聞かれ、本研究科ができることを高く評価し、期待を寄せていた。

イ. 第三者機関による現看護職者および在学生（2,3 年生）へのアンケート調査

[資料 4 : 設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書]

本研究科の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関により、アンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆ 調査期間 : 令和 2 (2020) 年 12～令和 3(2021)年 1 月
- ◆ 調査対象 : 令和 4 年 4 月に進学する可能性が高い、本学看護学部にて在学する大学生および現看護職者（看護師・保健師・助産師・看護教員）

- ◆ 調査方法 : 調査対象先にアンケート用紙を郵送し、調査対象である在学生および当該施設にて勤務する現看護職者への配布を依頼し、個別に回答の上、直接返送を求めた。
- ◆ 調査内容 : 質問項目は、学部生は全 10 問、現看護職者は全 14 問とし、主な質問内容は以下の通りである。
 - ・回答者の基本情報
 - ・本研究科への評価について
 - ・本研究科への入学意向について
- ◆ 回収件数 : 学部生 : 169 件 (配布件数 176 件 / 回収率 96.0%)
現看護職者 : 2,106 件 (配布件数 5,628 件 / 回収率 37.4%)
- ◆ 有効回答件数 : 学部生 : 169 件
現看護職者 : 2,095 件
※回収分から問 1 (居住地) の無回答者を無効回答とした。

回答者は、本研究科が開設する令和 4(2022)年度に受験対象となる本学看護学部の 3 年生とその翌年度受験対象となる 2 年生および現看護職者 (看護師・保健師・助産師・看護教員) を対象としている。現看護職者の保有している免許については、回答を得た 2,095 人のうち、「看護師」が 2,020 人(96.4%)と最も多く、次いで、「保健師」が 426 人(20.3%)、「准看護師」が 355 人(16.9%)となった (※複数選択可)。現在の職業については、「看護師」が 1,636 人(78.1%)と最も多く、次いで「保健師」が 265 人(12.6%)となった。現看護職者の経験年数として最も多かったのは 20 年以上が 735 人(35.1%)であった。勤務先については、「病院」が 1,675 人(80.0%)と最も多かった。最終学歴については、「看護専門学校卒業」が 1,524 人(72.7%)と最も多く、次いで、「看護系大学卒業」が 318 人(15.2%)となった。

上記で回答を得た学部生 169 人のうち、大学院への進学意欲を示した 38 人に対して本研究科への受験意欲について質問したところ、「開設初年度 (2022 年 4 月入学) に受験したい」が 7 人、「将来、必要に応じて受験したい」が 23 人と、計 30 人が本研究科への受験の意欲を示した。また、同じく回答を得た現看護職者 2,095 人のうち、大学院への進学意欲を示し、現在の職業について「看護師」「保健師」「助産師」「看護教員」「その他 (准看護師のみを保有資格とする者を除く)」519 人に対して本研究科への受験意欲について質問したところ、「開設初年度 (2022 年 4 月入学) に受験したい」が 7 人、「将来、必要に応じて受験したい」が 312 人と、計 319 人が本研究科への受験の意欲を示した。

さらに、受験意欲を示した学部生 30 人に対して本研究科への入学意欲について質問したところ、「合格した場合、入学したい」が 20 人、「合格した場合、併願校の結果によっては入学したい」が 10 人であった。同じく本研究科への受験意欲を示した現看

護職者 319 人に対して本研究科への入学意欲について質問したところ、「合格した場合、入学したい」が 186 人、「合格した場合、併願校の結果によっては入学したい」が 128 人であった。

このように、本研究科への受験意欲および入学意欲をまとめると、開設初年度（2022 年 4 月）に受験したい」且つ、「合格した場合、入学したい」と回答した者は、学部生 7 人、現看護職者 6 人の合計 13 人であり、本研究科の予定する入学定員の 6 人を上回る入学の意欲が示される回答であった（表 1）。

表 1 本研究科入学意向についてのアンケート調査結果（まとめ）

		合格した場合、 入学したい	合格した場合、 併願校の結果によ っては入学したい	無回答	合計
学部生	開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい	7	0	0	7
	将来、必要に応じて受験したい	13	10	0	23
現看護職者	開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい	6	1	0	7
	将来、必要に応じて受験したい	180	127	5	312
合計		206	138	5	349

また、「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」と回答した学部生の学年別内訳は、7 人すべてが、本研究科が開設する 2022 年 4 月に入学可能な 3 年生であった。

なお、「将来、必要に応じて受験したい」且つ、「合格した場合、入学したい」と回答した者は、合計 193 人（学部生 13 人、現看護職者 180 人）であった（表 1）。以上の結果から、入学定員 6 人を確保することが可能であると想定することができた。

③ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、本学競合校の学生納付金の状況や、大学運営上の財務的状況等を考慮し設定している。

全国の私立看護系大学院の初年度納付金の状況を確認したところ、全国の平均額は 1,127,518 円であった。また、近隣の大学院（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉）は、平均額が 1,137,164 円であった。さらに、競合する県内の私立看護系大学院の看護学研究科の初年度納付金は、入学金 200,000 円、授業料 810,000 円、設備拡充費 300,000 円の合計 1,310,000 円であった。本学が開設する研究科の初年度納付金は、入学金 120,000 円、基本料 180,000

円、履修費 900,000 円の合計 1,200,000 円と設定した。この設定は、競合校と比較すると廉価な設定であるが、学生確保を確実に遂行し、健全な経営に努めることにより継続可能な妥当性ある設定と考える。

〔資料 5：2020 年度入学生初年度納付金一覧〕

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた取り組みについては、前述の質問紙ニーズ調査時に対象とした茨城県を中心とした病院・医療施設・自治体・学校等の事業所の 172 カ所および本学の学生、計 5,804 人に情報を提供しており、また、聞き取りを実施した県内 18 カ所の医療機関および研究科実習施設 21 カ所の保健医療施設には研究科の概要を直接説明している。

今後、広報活動については、パンフレットおよびリーフレットの作成・配布、ホームページ等を活用した広報活動、オープンキャンパス・個別相談の実施などを行い、入学者の確保に努めることとする。具体的には、①大学とは別に大学院案内のパンフレットおよびリーフレットを作成し、これまで実施してきた聞き取りによるニーズ調査先と第三者機関による質問紙ニーズ調査先に配布するほか、学部の実習先施設である県内の病院や福祉施設等にも配布する。②ホームページに本研究科の概要等（認可前は「認可申請中」等と明記）を掲載する。また、新聞・雑誌・WEB への広告にも掲出し、学生確保に繋がる情報の発信に取り組む。③学部対象のオープンキャンパス等において本研究科の説明会や個別相談を実施する。

また、小論文作成や英語論文購読等の大学院教育レディネスを高めるための「社会人学び直し研修」を計画的に実施し、本研究科進学希望者の確保と増加に取り組む。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

① 教育研究上の目的

本研究科は、看護系学士課程の修了者ならびに看護職社会人に対し、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥をきわめ、さらには高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培い、地域の健康の維持・増進に貢献できる高度専門職業人を育成するとともに、保健・医療・福祉・教育等の場において、主体的なリーダーシップを発揮できる看護実践者を育成することを目的とする。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

① 社会的、地域的な人材需要の見通し

急激な少子高齢化や医療技術の進歩など医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、厚生労働省は「保健医療 2035 提言書」（平成 27 年 6 月）の中で、団塊のジュニア世代

が高齢者となる 2035 年までに保健医療の大胆なパラダイムシフトが必要であり、健康は従来の医療の枠組みを越え、国民一人ひとりが保健医療における役割を主体的に果たすことによって実現すると謳っている。そして 2035 年に向けた 3 つのビジョン、「リーン・ヘルスケア」「ライフ・デザイン」「グローバル・ヘルス・リーダー」を掲げている。また、これらのビジョンを達成するために 5 つのインフラを整備する必要性にも言及しているが、その中の一つが次世代型の保健医療人材であり、「保健医療システムがその役割を十分果たせる、技術の進歩や時代の要請の変化を捉えた医療従事者像、医療像を常に検討し、実現に向けて人材育成のあり方も更新し続ける必要がある」と述べている。このように市民や多様な専門職とパートナーシップを組んだ地域づくりなども含め、社会を先導する看護人材には強力なリーダーシップと教育力および経済観念を備えた優れた実践者リーダーが不可欠であり、このような人材の育成は新しい教育戦略を持った大学院教育によってのみ達成できると考える。

しかし、茨城県の修士号以上の学位を持った看護職者の割合は、保健師で 2.5%、助産師 3.2%、看護師 0.6%、計 0.7%に過ぎない〔資料 6：保健師助産師看護師の現状_平成 30 年度茨城県保健福祉部〕。今回の COVID-19 問題でも明らかのように、将来の予測不能な問題にも果敢に挑戦し、新しい戦略を開発できる質の高い看護力が必要とされている現状からして、本県において更なる看護系研究科の設置は急務である。

本研究科設置の必要性に関しては、水戸市長、茨城県看護協会長からの要望が示されており、修士課程による看護系高度専門職業人の養成に期待が高いことを示している。〔資料 3：要望書（水戸市長、茨城県看護協会長）〕

② 第三者機関による事業所アンケート調査結果の概要

[資料 7：設置構想に係る採用意向アンケート調査報告書]

本研究科では地域社会の要請を踏まえ、将来の予測不能な課題に果敢に挑戦し、予防から看取りまで新しい戦略を開発し、社会を先導する次世代型の保健医療人材となる『看護系高度専門職業人』および将来の『教育研究者』を養成する。そしてリーダーシップと指導力、コミュニケーション力を備えた看護実践の変革者として活躍でき、また、専門性を生かして現場の課題解決に向けて活躍できる人材の輩出を目指す。その活躍の場については、基本的には、修了後も現職に復帰し現場で活躍することとなるが、本研究科に対する人材需要について、第三者機関による事業所アンケート調査を実施した結果、以下の通り、非常に高い採用ニーズがあることが明らかとなった。

- ◆ 調査期間 : 令和 2 (2020) 年 12~令和 3(2021)年 1 月
- ◆ 調査対象 : 令和 4 (2022) 年 4 月に本研究科の修了生の採用が期待され

る茨城県を中心とした病院・医療施設・自治体・学校等の事業所の 172 件を対象とし、調査を依頼した。

依頼対象とした事業所は次の通りである。

- 1 病院 48 件
- 2 訪問看護ステーション 51 件
- 3 地方自治体 56 件
- 4 看護専門学校 17 件

- ◆ 調査方法 : 調査対象とした事業所の 172 件の採用担当者宛てにアンケート用紙を送付し、回答・返信を求めた。
- ◆ 調査内容 : 質問項目は全 12 問とし、主な質問内容は以下の通りである。
 - ・事業所の基本情報
 - ・本研究科の設置の社会的意義
 - ・本研究科の修了予定者の採用意向（人材需要）
- ◆ 回答件数 : 69 件（配布件数 172 件／回収率 40.1%）
- ◆ 有効回答件数 : 69 件

回答のあった機関・団体を業種別に見ると、「病院」が 34 件（49.3%）、「地方自治体」が 24 件（34.8%）、「訪問看護ステーション」が 8 件（11.6%）、「看護専門学校」が 3 件（4.3%）となった。大学院修了をした看護職者の従事については、回答を得た 69 件のうち、「大学院修士課程修了の看護職者は勤務していない」が 45 件（65.2%）であった。本研究科の養成する人材が、地域社会において必要であるかの質問では、回答を得た 69 件のうち、「とても必要だと思う」が 9 件（13.0%）、「必要だと思う」が 54 件（78.3%）と、9 割以上が必要性を示した。また、本研究科の修了生の採用意欲についての質問では、回答を得た 69 件のうち、「採用したい」が 10 件（14.5%）、「採用を検討したい」が 27 件（39.1%）と、5 割以上が採用の意欲を示した。さらに、本研究科の修了生の採用の意欲を示した「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した 37 件のうち、本研究科の修了生の採用可能人数を問う質問では、「1 人」が 5 件、「2 人」が 1 件、「3 人以上」が 2 件、「人数は未確定」が 29 件であった。

採用可能人数は合計 42 人（「人数は未確定」は 1 人、「3 人以上」は 3 人として集計）となり、本研究科が予定する入学定員 6 人を大きく上回る結果を得られた（表 2）。

以上の結果から、採用の意欲・人数が示される回答が得られたので、本研究科は人材需要があると判断でき、社会的要請に応え得るものであると考える。

表2 本研究科採用意向についてのアンケート調査結果（まとめ）

	業種	病院		訪問看護 ステーション		地方自治体		看護専門学校		合計
		採用 したい	採用を 検討し たい	採用 したい	採用を 検討し たい	採用 したい	採用を 検討し たい	採用 したい	採用を 検討し たい	
採用意向	採用の意欲									
	事業所の合計	6	20	1	4	3	3	0	0	37
採用可能人数	1人	0	2	1	1	1	0	0	0	5
	2人	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	3人以上	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	人数は未確定	5	16	0	3	2	3	0	0	29
	採用可能人数	8	23	1	4	3	3	0	0	42

※「人数は未確定」は「1人」、「3人以上」は「3人」として集計

<資料目次>

- 資料 1 ニーズ調査訪問先医療機関等
- 資料 2 表 1 常磐大学大学院における看護学研究科（仮称 設置構想中）の設置に関するニーズ調査（インタビュー）記録の概要一覧
- 資料 3 要望書（水戸市長、茨城県看護協会会長）
- 資料 4 「設置構想に係る入学意向アンケート調査」報告書
- 資料 5 2020 年度入学生初年度納付金一覧
- 資料 6 保健師助産師看護師の現状
- 資料 7 「設置構想に係る採用意向アンケート調査」報告書

ニーズ調査訪問先医療機関等



- ニーズ調査訪問先医療機関
- 県内の修士課程を有する看護系大学
- 隣接県の修士課程を有する看護系大学



政企第 100 号
令和 3 年 2 月 22 日

学校法人常磐大学
理事長 小櫃 重秀 殿

水戸市長 高橋 靖



常磐大学大学院看護学研究科設置について

超高齢社会の進展とあわせ、医療技術の進歩、疾病構造の変化、さらには、健康に対する意識の変化などに伴い、医療へのニーズはこれまで以上に高度化、多様化、複雑化し、これらに対応できる専門性の高い人材が求められております。全国的な医療従事者の不足が叫ばれているなか、未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症の流行によって、地域医療の現場には過大な負荷がかかり続けており、人材の確保はまさに喫緊の課題であります。

本市におきましては、令和 2 年 4 月 1 日の中核市移行に伴い設置した水戸市保健所を中心に、誰もが安心して医療を受けることができる体制の確保、質の高い医療サービスの提供に向け、関係機関との連携強化を図りながら、新型コロナウイルス感染症への対応とともに医師や看護師など保健医療分野における人材の養成、確保を積極的に推進しております。

また、水戸市をはじめ、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町及び東海村の 9 市町村で形成する茨城県央地域定住自立圏におきましても、初期救急医療の充実とともに、圏域内の安定的な医療提供体制の維持に向けた医師及び看護師等の確保に資する取組を進めているところであります。

貴学におかれましては、昭和 58 年の開学以来多くの優秀な人材を輩出され、卒業生の皆様に地域社会を支える要として活躍いただいているほか、学官連携にも意欲的に取り組まれ、行政はもとより、地域の発展に大きく貢献されてまいりました。また、平成 30 年には看護学部を設置され、地域医療の未来を担う人材育成にも積極的に取り組んでいただいているところであります。

このたびの看護学研究科設置は、将来の予測不能な問題にも果敢に挑戦し、新しい戦略を立案できる質の高い看護力を有する人材を養成するものであり、持続可能な地域医療体制の確保につながる取組であることから、大いに歓迎いたします。

令和 3 年 2 月 25 日

学校法人常磐大学

理事長 小櫃 重秀 殿

公益社団法人茨城県看護協会

会長 白川 洋子



常磐大学大学院看護研究科看護学専攻設置に期待して

看護教育及び看護職の人材育成は幾多の変遷を得て今日に至っております。常磐大学におかれましては先駆的に看護職のキャリア形成にご尽力され、諸先輩の方々が多方面でご活躍されており心強い限りでございます。

さて、茨城県の看護職員数は人口 10 万人対では依然として低迷であり、看護協会としましても大きな課題であります。このような中で、ますます進む少子高齢化や家族関係の変化医療の高度化等に看護職は如何に対応し、人びとの幸福に寄与できるかが中心的な課題であります。しかしそれは又、可能性を見出すチャンスでもあり、社会のニーズを捉えた大学院での教育が必要です。

看護職はひとの誕生から、最期のその時まで傍にいる職種であり、多くの看護職にとって誇りを抱くところでもあります。それと同時に他職種との協働や連携、調整力が期待されており、マネジメント力が試されております。また情報の活用により専門的な知識やスキルを人々から評価がされるようになり、看護職それぞれが生涯にわたり学ぶ機会を必要としております。

このような状況の中で協会としては、看護職としての早い時期から大学院での学びを応援していければ幸いです。

常磐大学におかれましては、人間科学部や総合政策学部等、看護学を深めることができる学部があり看護職にとっては非常に助けとなる大学であります。このようなことから是非、大学院看護研究科看護学専攻の設置をお願い申し上げます。

常磐大学大学院

看護学研究科看護学専攻（修士課程）

（仮称・令和4年4月開設予定・設置構想中）

「設置構想に係る入学意向アンケート調査」報告書

令和3年2月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2-1	全質問項目の集計結果（学部生）	2
2-2	全質問項目の集計結果（現看護職者）	6
3	集計結果のポイント	12
	添付資料	30
	「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称） 設置構想に係る入学意向アンケート調査」（対象：学部生）用紙	
	「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称） 設置構想に係る入学意向アンケート調査」（対象：現看護職者）用紙	
	「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称） 基本情報・養成する人材像・教育の特色①②（概要）」	

1 調査の概要

- ◆ 調査目的 : 本調査は、常磐大学大学院が令和4年4月に設置を構想している「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関により、アンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆ 調査期間 : 令和2年12月～令和3年1月

- ◆ 調査対象 : 令和4年4月に設置を構想中の「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」に進学する可能性が高い、常磐大学看護学部に在学する大学生および現看護職者（看護師・准看護師・保健師・助産師・看護教員）を対象とし、調査を依頼した。

- ◆ 調査方法 : 調査対象とした常磐大学および病院等の医療施設に「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）設置構想に係る入学意向アンケート調査」用紙を郵送し、調査対象である在学生および当該施設にて勤務する現看護職者への配布を依頼し、個別に回答の上、直接返送を求めた。

- ◆ 調査内容 : 質問項目は、学部生は全10問、現看護職者は全14問とした。主な質問内容は以下の通りである。
 - ・回答者の基本情報
 - ・常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）への評価について
 - ・常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）への入学意向について

- ◆ 回収件数 : 学部生：169件（配布件数176件／回収率96.0%）
現看護職者：2,106件（配布件数5,628件／回収率37.4%）

- ◆ 有効回答件数 : 学部生：169件
現看護職者：2,095件
※回収分から問1（居住地）の無回答者を無効回答とした。

2-1 全質問項目の集計結果（学部生）

※「構成比(%)」はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

2～5 ページは、アンケートで回答を得た169人の回答結果に基づく、各質問項目の集計結果である。

問1 あなたの居住地を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	茨城県水戸市	55	32.5%
2	茨城県(県南地域)	14	8.3%
3	茨城県(県西地域)	17	10.1%
4	茨城県(水戸市以外の県央地域)	48	28.4%
5	茨城県(県北地域)	30	17.8%
6	茨城県(鹿行地域)	4	2.4%
7	茨城県以外	1	0.6%
合計		169	100.0%

問2 あなたの現在の学年を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	2年生	85	50.3%
2	3年生	84	49.7%
合計		169	100.0%

問3 あなたは他大学の大学院も含め大学院への進学についてどのように考えていますか。 (あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学部卒業と同時に進学を希望する	5	3.0%
2	条件が合えば進学を希望する	3	1.8%
3	将来的に進学を希望する	5	3.0%
4	進学に興味がある	25	14.8%
5	進学を希望しない	98	58.0%
6	わからない	33	19.5%
合計		169	100.0%

問4は、問3で「1. 学部卒業と同時に進学を希望する」「2. 条件が合えば進学を希望する」「3. 将来的に進学を希望する」「4. 進学に興味がある」と回答した38人が回答対象である。

問4 あなたは本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	開設初年度(2022年4月入学)に受験したい	7	18.4%
2	将来、必要に応じて受験したい	23	60.5%
3	受験したいと思わない	8	21.1%
合計		38	100.0%

問5～問9は、問4で「1. 開設初年度(2022年4月入学)に受験したい」「2. 将来、必要に応じて受験したい」と回答した30人が回答対象である。

問5 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を受験したいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者30人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学びたい領域があるから	6	20.0%
2	教育内容や特色に関心があるから	6	20.0%
3	働きながら学べるから	10	33.3%
4	茨城県内で進学したいから	3	10.0%
5	母校だから	6	20.0%
6	高度な専門知識を修得したいから	16	53.3%
7	研究力を高めたいから	1	3.3%
8	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから	14	46.7%
9	将来、現場の指導者、指導的役割を担いたいから	9	30.0%
10	看護教育者になりたいから	6	20.0%
11	看護研究者になりたいから	1	3.3%
12	その他	0	0%
	無回答	1	3.3%

問 6 あなたは、本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を受験し、合格した場合、入学を希望しますか。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	20	66.7%
2	合格した場合、併願校の結果によっては入学したい	10	33.3%
合計		30	100.0%

問 7 本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)では、4つの領域を検討しています。あなたが興味をもつ領域を教えてください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 30 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護管理教育学領域	13	43.3%
2	母子看護学領域	15	50.0%
3	精神・地域在宅看護学領域	9	30.0%
4	成人高齢者看護学領域	14	46.7%
	無回答	0	0%

問 8 本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)は、「看護系高度専門職業人」および「将来の『教育研究者』」の養成を目指しています。あなたが大学院教育を通して目指す看護職者像について教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	2	6.7%
2	地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	1	3.3%
3	母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	4	13.3%
4	小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	0	0.0%
5	成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	4	13.3%
6	認定看護管理者を目指したい	8	26.7%
7	精神看護専門看護師を目指したい	3	10.0%
8	小児看護専門看護師を目指したい	2	6.7%
9	将来、看護教員や研究者を目指したい	6	20.0%
10	その他	0	0.0%
合計		30	100.0%

問 9 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を受験するにあたって、不安だと思うことはありますか。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 30 人の延べ数、構成比は回答数の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学費などの経済面	17	56.7%
2	仕事等と学業の両立	19	63.3%
3	英語などの受験科目	7	23.3%
4	授業についていけるか	5	16.7%
5	わからない	0	0%
6	特になし	2	6.7%
7	その他	2	6.7%
	無回答	3	10.0%

問 10 は、問 4 で「3. 受験したいと思わない」と回答した 8 人が回答対象である。

問 10 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を「受験したいと思わない」と回答された理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 8 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学びたい領域がないから	1	12.5%
2	教育内容や特色に関心を持ってないから	2	25.0%
3	他の大学院への進学を考えているから	1	12.5%
4	働いてから考えたいから	5	62.5%
5	更に詳細を知った上で検討したいから	2	25.0%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%

2-2 全質問項目の集計結果（現看護職者）

※「構成比(%)」はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

6～11 ページは、アンケートで回答を得た2,095人の回答結果に基づく、全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの居住地を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	茨城県水戸市	374	17.9%
2	茨城県(県南地域)	613	29.3%
3	茨城県(県西地域)	268	12.8%
4	茨城県(水戸市以外の県央地域)	314	15.0%
5	茨城県(県北地域)	321	15.3%
6	茨城県(鹿行地域)	129	6.2%
7	茨城県以外	76	3.6%
合計		2,095	100.0%

問2 あなたが保有している免許を教えてください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者2,095人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護師	2,020	96.4%
2	保健師	426	20.3%
3	助産師	85	4.1%
4	准看護師	355	16.9%
5	その他	42	2.0%
	無回答	6	0.3%

問 3 あなたの現在の職業を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護師	1,636	78.1%
2	保健師	265	12.6%
3	助産師	55	2.6%
4	准看護師	59	2.8%
5	看護教員	62	3.0%
6	その他	4	0.2%
	無回答	14	0.7%
合計		2,095	100.0%

問 4 あなたの看護職(看護師・保健師・助産師・看護教員)としての総経験年数を教えてください。(2020年11月1日現在までの年数を下枠に記入)

※回答数は1,936人

※記入のあった人数を以下の区分で集計

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0～1年未満	8	0.4%
2	1年以上3年未満	168	8.0%
3	3年以上10年未満	470	22.4%
4	10年以上20年未満	555	26.5%
5	20年以上	735	35.1%
	無回答	159	7.6%
合計		2,095	100.0%

問 5 あなたが現在勤務している職場を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	病院	1,675	80.0%
2	訪問看護ステーション	59	2.8%
3	地方自治体	252	12.0%
4	看護専門学校	72	3.4%
5	その他	27	1.3%
	無回答	10	0.5%
合計		2,095	100.0%

問 6 あなたの最終学歴を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護専門学校卒業	1,524	72.7%
2	看護系短期大学卒業	84	4.0%
3	大学卒業(看護系以外)	55	2.6%
4	看護系大学卒業	318	15.2%
5	看護系大学院修了	19	0.9%
6	大学院修了(修士課程看護系以外)	4	0.2%
7	その他	75	3.6%
	無回答	16	0.8%
合計		2,095	100.0%

問 7 あなたは他の大学院も含め一般的に大学院への進学についてどのように考えていますか。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	直ちに進学を希望する	5	0.2%
2	条件が合えば直ちに進学を希望する	64	3.1%
3	将来的に進学を希望する	50	2.4%
4	進学に興味がある	407	19.4%
5	わからない	387	18.5%
6	進学を希望しない	1,178	56.2%
	無回答	4	0.2%
合計		2,095	100.0%

問8は、問3で「1. 看護師」「2. 保健師」「3. 助産師」「5. 看護教員」「6. その他（准看護師のみを保有資格とする者を除く）」を選択し、かつ、問7で「1. 直ちに進学を希望する」「2. 条件が合えば直ちに進学を希望する」「3. 将来的に進学を希望する」「4. 進学に興味がある」を回答した519人が回答対象である。

問8 あなたは常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	開設初年度(2022年4月入学)に受験したい	7	1.3%
2	将来、必要に応じて受験したい	312	60.1%
3	受験したいと思わない	193	37.2%
	無回答	7	1.3%
合計		520	100.0%

問9～問13は、問8で「1. 開設初年度(2022年4月入学)に受験したい」「2. 将来、必要に応じて受験したい」と回答した319人が回答対象である。

問9 あなたが常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)への受験を希望する理由を教えてください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は回答者319人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識を修得し、研究力を高めたいから	147	46.1%
2	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから	173	54.2%
3	将来、現場の指導者、指導的役割を担いたいから	69	21.6%
4	看護教育者になりたいから	33	10.3%
5	看護研究者になりたいから	15	4.7%
6	その他	8	2.5%
	無回答	12	3.8%

問 10 あなたは常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	186	58.3%
2	合格した場合、併願校の結果によっては入学したい	128	40.1%
	無回答	5	1.6%
合計		319	100.0%

問 11 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)では、4つの領域を検討しています。あなたが興味をもつ領域を教えてください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 319 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護管理教育学領域	135	42.3%
2	母子看護学領域	61	19.1%
3	精神・地域在宅看護学領域	113	35.4%
4	成人高齢者看護学領域	130	40.8%
	無回答	5	1.6%

問 12 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)は、「看護系高度専門職業人」および「将来の『教育研究者』」の養成を目指しています。あなたが大学院教育を通して目指す看護職者像について教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	17	5.3%
2	地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	58	18.2%
3	母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	22	6.9%
4	小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	12	3.8%
5	成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい	69	21.6%
6	認定看護管理者を目指したい	49	15.4%
7	精神看護専門看護師を目指したい	16	5.0%
8	小児看護専門看護師を目指したい	4	1.3%
9	将来、看護教員や研究者を目指したい	53	16.6%
10	その他	12	3.8%
	無回答	7	2.2%
合計		319	100.0%

問 13 あなたが常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)に進学する際の学修計画について教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	長期履修学生制度を利用して働きながら3年で修了したい	127	39.8%
2	長期履修学生制度を利用して働きながら4年で修了したい	48	15.0%
3	退職して2年で修了したい	16	5.0%
4	勤務施設・機関の休職制度を利用して2年で修了したい	43	13.5%
5	勤務施設・機関の研修制度を利用して2年で修了したい	73	22.9%
6	その他	6	1.9%
	無回答	6	1.9%
合計		319	100.0%

問 14 は、問 8 で「3. 受験したいと思わない」と回答した 193 人が回答対象である。

問 14 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を「受験したいと思わない」と回答された理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答者 193 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	進みたい領域がないから	43	22.3%
2	教育内容や特色に関心を持ってないから	15	7.8%
3	他の大学院・研究科への進学を希望しているから	26	13.5%
4	大学院に通う余裕がないから	72	37.3%
5	更に詳細を知った上で検討したいから	59	30.6%
6	数年後に進学を検討したいから	19	9.8%
7	その他	34	17.6%
	無回答	6	3.1%

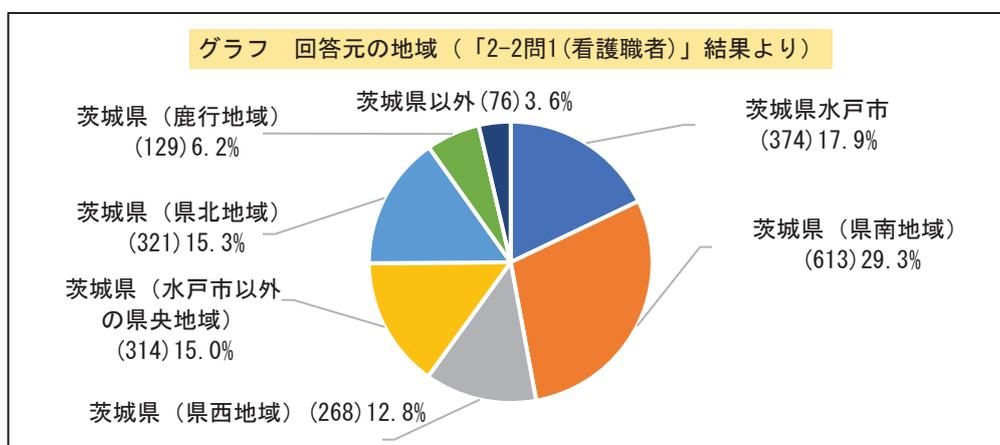
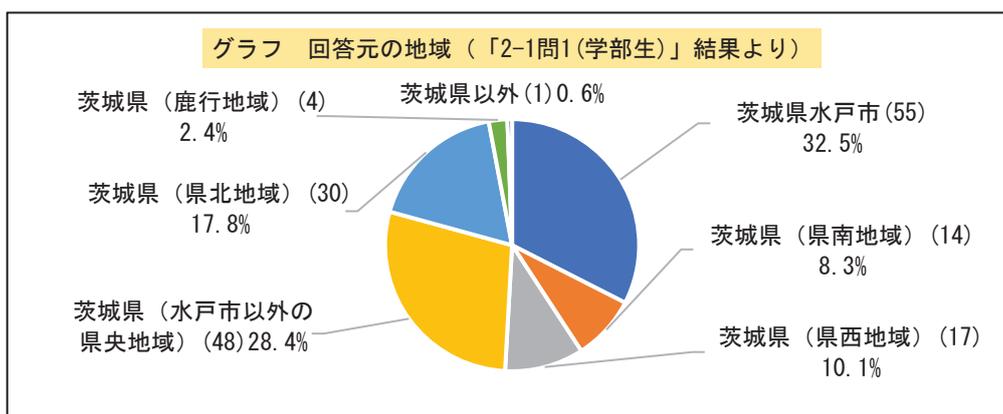
3 集計結果のポイント

※「構成比(%)」はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

● 学部生、現看護職者ともに研究科の調査対象として適切な茨城県内を中心に調査

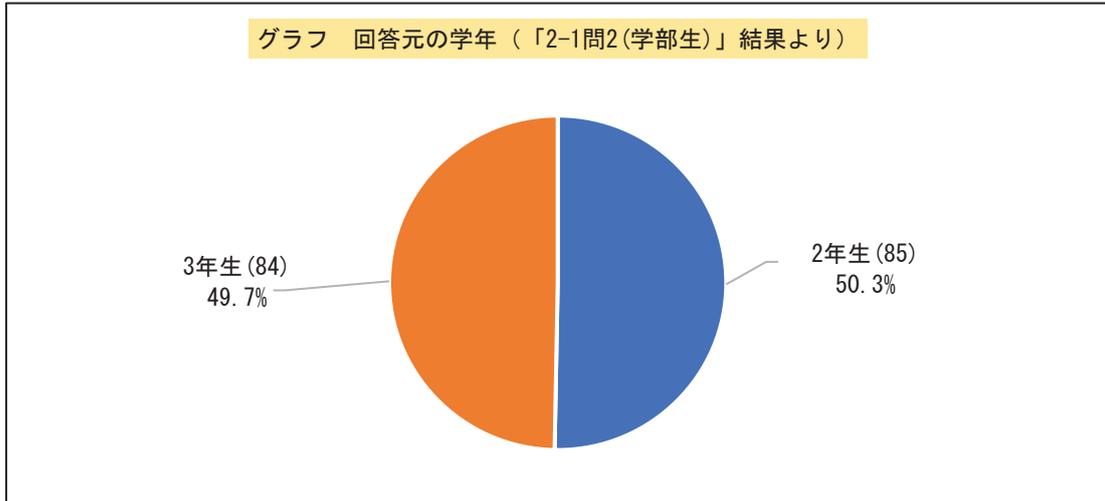
2-1問1の地域についての質問では、回答を得た169人のうち、「茨城県水戸市」が55人(32.5%)、「茨城県(水戸市以外の県央地域)」が48人(28.4%)、「茨城県(県北地域)」が30人(17.8%)、「茨城県(県西地域)」が17人(10.1%)、「茨城県(県南地域)」が14人(8.3%)、「茨城県(鹿行地域)」が4人(2.4%)、「茨城県以外」が1人(0.6%)となった。

2-2問1の地域についての質問では、回答を得た2,095人のうち、「茨城県(県南地域)」が613人(29.3%)、「茨城県水戸市」が374人(17.9%)、「茨城県(県北地域)」が321人(15.3%)、「茨城県(水戸市以外の県央地域)」が314人(15.0%)、「茨城県(県西地域)」が268人(12.8%)、「茨城県(鹿行地域)」が129人(6.2%)、「茨城県以外」が76人(3.6%)となった。また、茨城県以外の地域については、栃木県、千葉県、埼玉県、福島県、東京都、神奈川県であった。



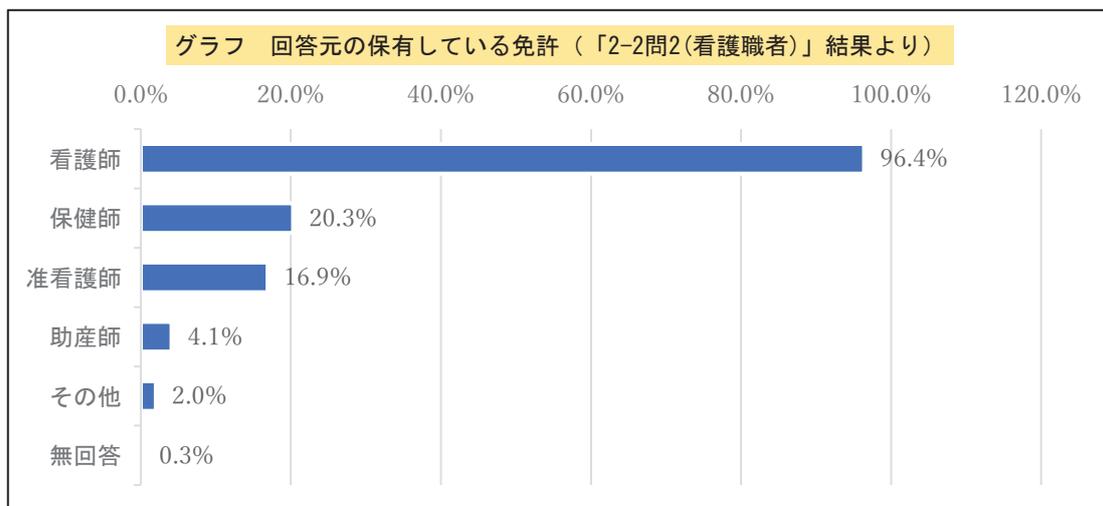
● 学部生は2年生、3年生を対象として調査

2-1 問 2 の学年についての質問では、回答を得た 169 人のうち、「2 年生」が 85 人(50.3%)、「3 年生」が 84 人(49.7%)となった。



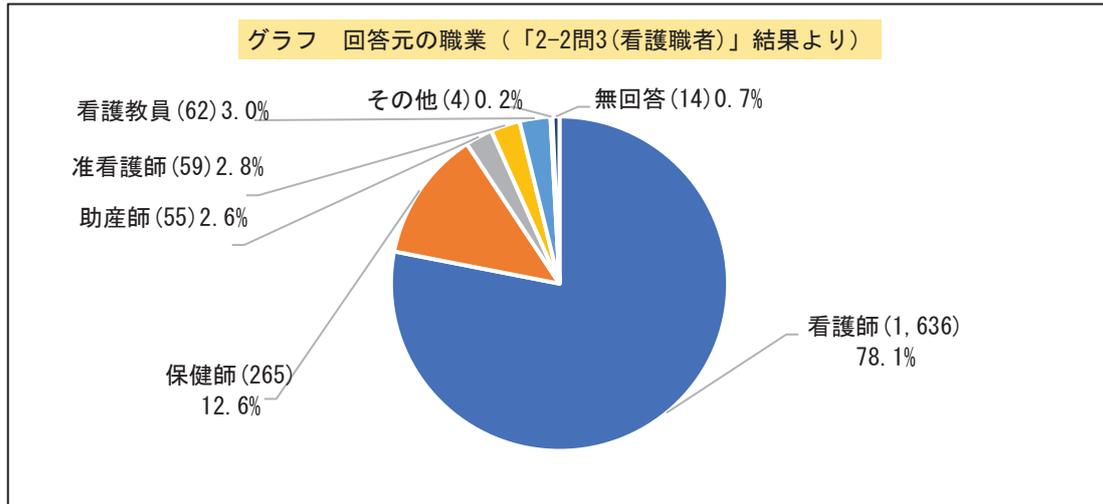
● 現看護職者は、看護師、准看護師、保健師、助産師の資格保有者を中心に調査

2-2 問 2 の保有している免許についての質問では、回答を得た 2,095 人のうち、「看護師」が 2,020 人(96.4%)、「保健師」が 426 人(20.3%)、「准看護師」が 355 人(16.9%)、「助産師」が 85 人(4.1%)、「その他」が 42 人(2.0%)となった。(※複数選択可)



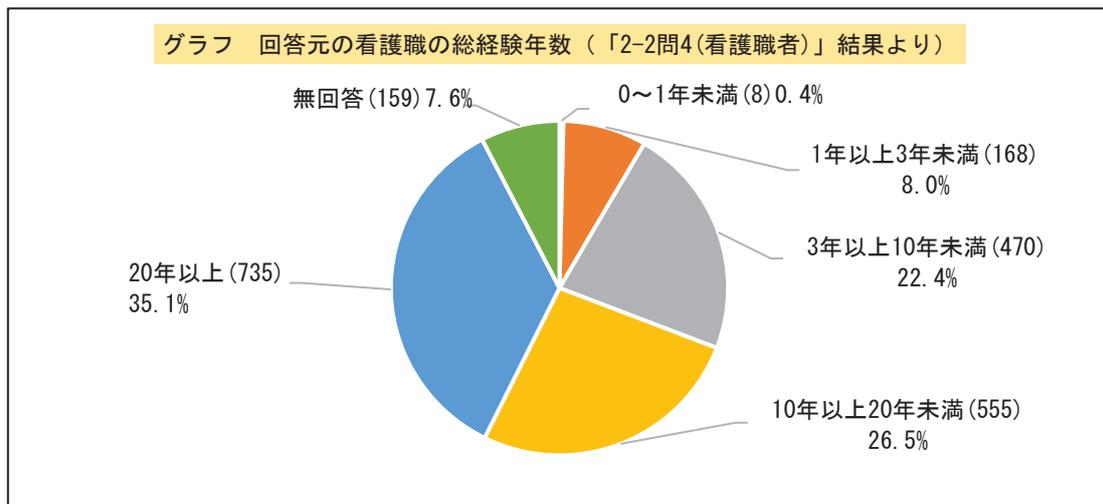
● 看護師、准看護師、看護教員、保健師、助産師の看護職者を中心に調査

2-2 問 3 の現在の職業についての質問では、回答を得た 2,095 人のうち、「看護師」が 1,636 人(78.1%)、「保健師」が 265 人(12.6%)、「看護教員」が 62 人(3.0%)、「准看護師」が 59 人(2.8%)、「助産師」が 55 人(2.6%)、「その他」が 4 人(0.2%)となった。



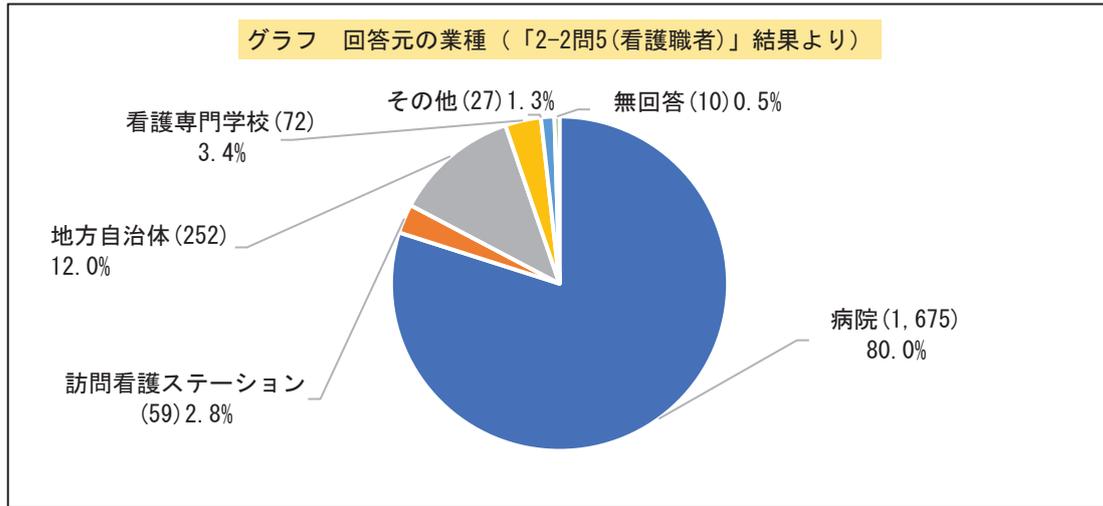
● 現看護職者の看護職の経験年数は、「20年以上」が 35.1%、「10年以上 20年未満」が 26.5%

2-2 問 4 の看護職としての総経験年数についての質問では、年数を記述してもらい、人数区分し集計した。回答を得た 2,095 人のうち、「20年以上」が 735 人(35.1%)、「10年以上 20年未満」が 555 人(26.5%)、「3年以上 10年未満」が 470 人(22.4%)、「1年以上 3年未満」が 168 人(8.0%)、「0~1年未満」が 8 人(0.4%)となった。



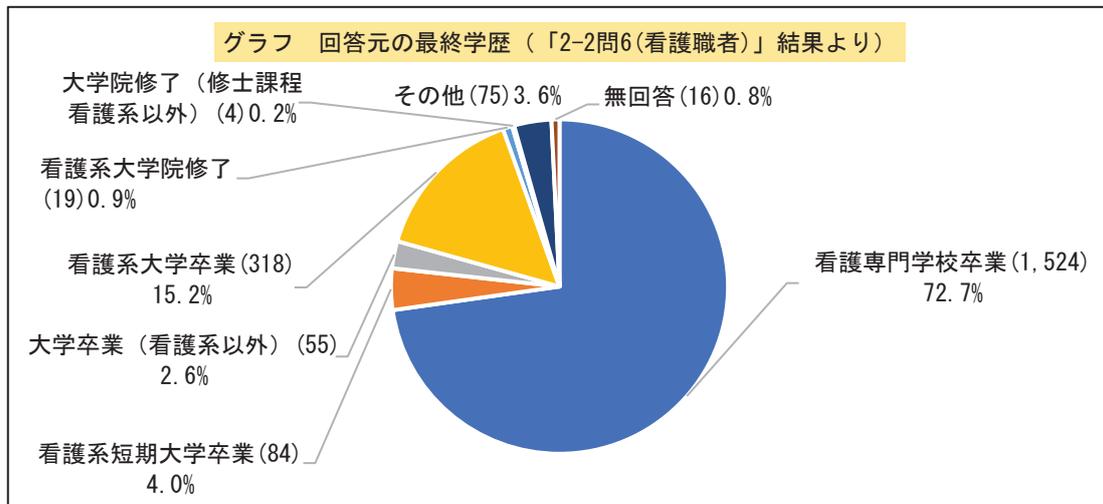
● 調査対象の現看護職者の勤務先は「病院」が8割

2-2 問 5 の業種についての質問では、回答を得た 2,095 人のうち、「病院」が 1,675 人 (80.0%)、「地方自治体」が 252 人 (12.0%)、「看護専門学校」が 72 人 (3.4%)、「訪問看護ステーション」が 59 人 (2.8%)、「その他」が 27 人 (1.3%)であった。



● 現看護職者の「看護専門学校卒業」が72.7%、「看護系大学卒業」が15.2%

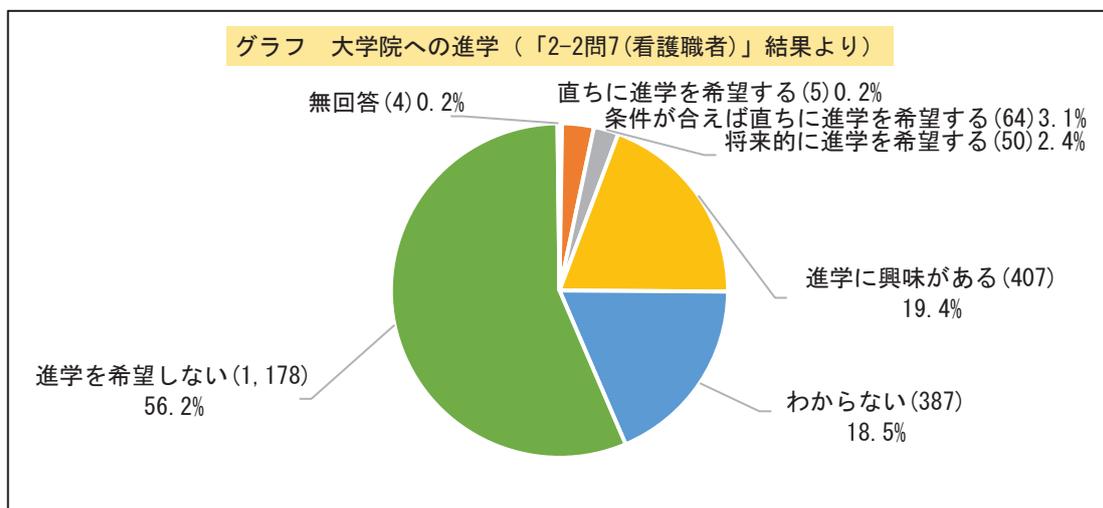
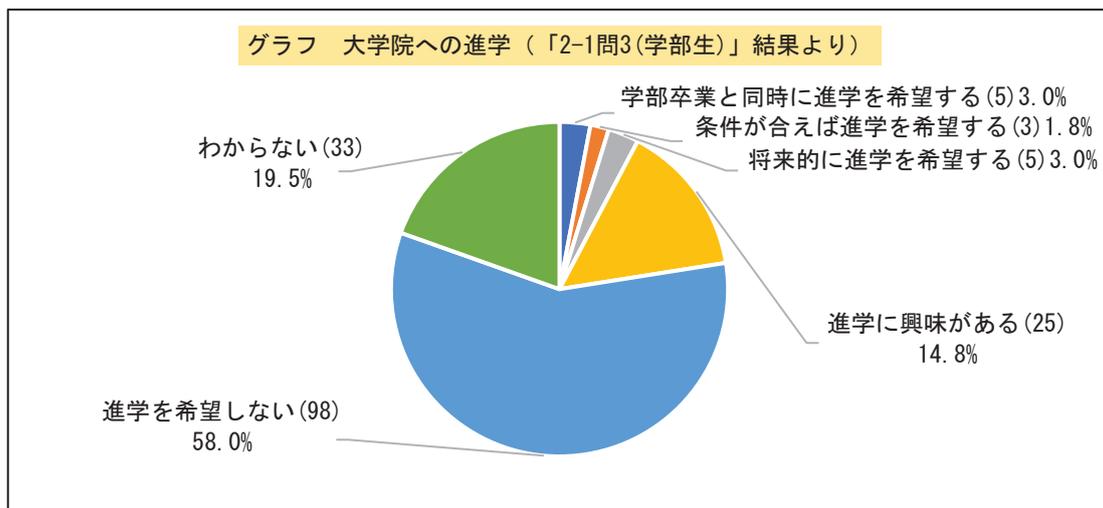
2-2 問 6 の最終学歴についての質問では、回答を得た 2,095 人のうち、「看護専門学校卒業」が 1,524 人 (72.7%)、「看護系大学卒業」が 318 人 (15.2%)、「看護系短期大学卒業」が 84 人 (4.0%)、「大学卒業 (看護系以外)」が 55 人 (2.6%)、「看護系大学院修了」が 19 人 (0.9%)、「大学院修了 (修士課程看護系以外)」が 4 人 (0.2%)、「その他」が 75 人 (3.6%)であった。



● 学部生 169 人のうち 38 人が大学院への進学意欲を示した
 現看護職者 2,095 人のうち、526 人が大学院への進学意欲を示した

2-1 問 3 の大学院への進学についての質問では、回答を得た 169 人のうち、「学部卒業と同時に進学を希望する」が 5 人(3.0%)、「条件が合えば進学を希望する」が 3 人(1.8%)、「将来的に進学を希望する」が 5 人(3.0%)、「進学に興味がある」が 25 人(14.8%)と、38 人が大学院への進学の意欲を示した。また、「進学を希望しない」が 98 人(58.0%)、「わからない」が 33 人(19.5%)であった。

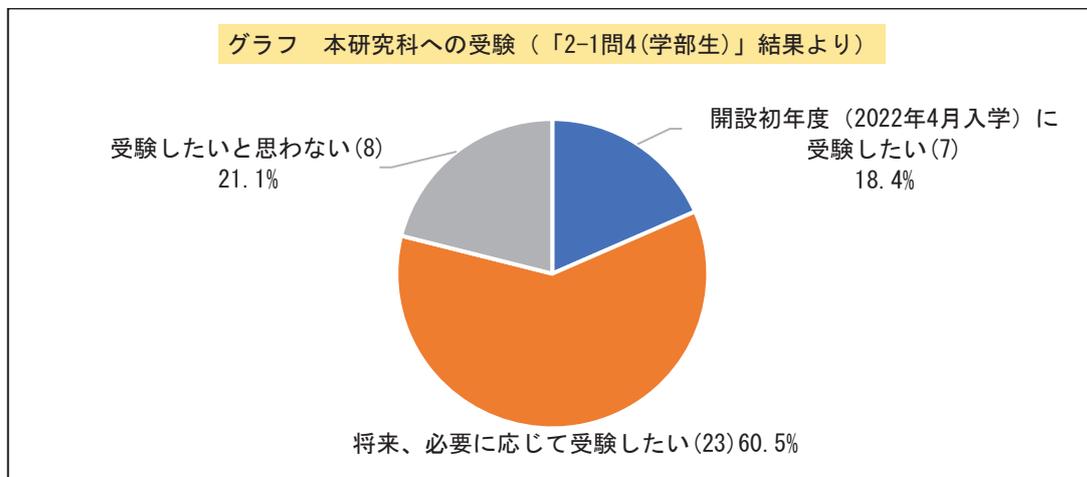
2-2 問 7 の大学院への進学についての質問では、回答を得た 2,095 人のうち、「直ちに進学を希望する」が 5 人(0.2%)、「条件が合えば直ちに進学を希望する」が 64 人(3.1%)、「将来的に進学を希望する」が 50 人(2.4%)、「進学に興味がある」が 407 人(19.4%)と、526 人が大学院への進学の意欲を示した。また、「進学を希望しない」が 1,178 人(56.2%)、「わからない」が 387 人(18.5%)であった。

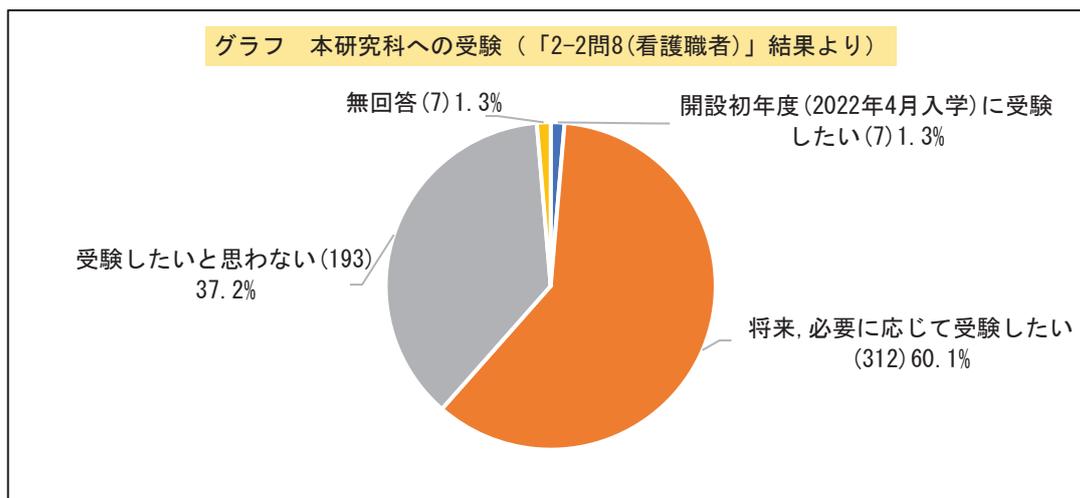


● 学部生は 30 人、現看護職は 319 人が本研究科への進学の意欲を示した

2-1 問 4 では、2-1 問 3 の大学院への進学の意欲を示した「学部卒業と同時に進学を希望する」、「条件が合えば進学を希望する」、「将来的に進学を希望する」、「進学に興味がある」と回答した 38 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)」の受験の意欲について質問した。その結果、「開設初年度(2022年4月入学)に受験したい」が 7 人(18.4%)、「将来、必要に応じて受験したい」が 23 人(60.5%)と、30 人が本研究科への進学意欲を示した。また、「受験したいと思わない」が 8 人(21.1%)であった。

2-2 問 8 では、2-2 問 3 の現在の職業について「看護師」「保健師」「助産師」「看護教員」「その他(准看護師のみを保有資格とする者を除く)」と回答し、2-2 問 7 の大学院への進学意欲を示した「直ちに進学を希望する」、「条件が合えば直ちに進学を希望する」、「将来的に進学を希望する」、「進学に興味がある」と回答した 519 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)」の受験の意欲について質問した。その結果「開設初年度(2022年4月入学)に受験したい」が 7 人(1.3%)、「将来、必要に応じて受験したい」が 312 人(60.1%)と、319 人が本研究科への進学意欲を示した。また、「受験したいと思わない」が 193 人(37.2%)であった。





以下の表は、看護職者のうち、受験意欲を示した者の職種別の表である。「開設初年度（2022年4月入学）に受験したい」と回答した7人の内訳は、「看護師」が6人（85.7%）、「看護教員」が1人（14.3%）であった。

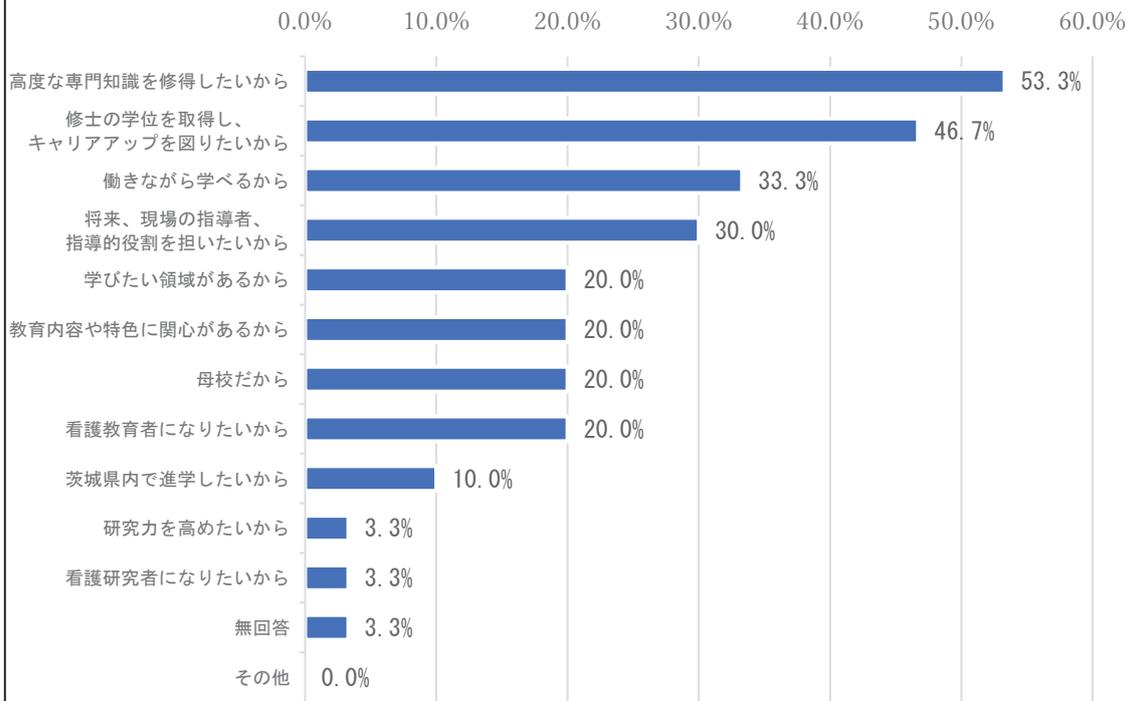
選択項目	開設初年度（2022年4月入学） に受験したい		将来、必要に応じて受験したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
看護師	6	85.7%	262	84.0%
保健師	0	0.0%	23	7.4%
助産師	0	0.0%	11	3.5%
看護教員	1	14.3%	16	5.1%
その他	0	0.0%	0	0.0%
合計	7	100.0%	312	100.0%

- 学部生の受験したい理由は、「高度な専門知識を修得したいから」が 53.3%
看護職者では、「修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから」が 54.2%

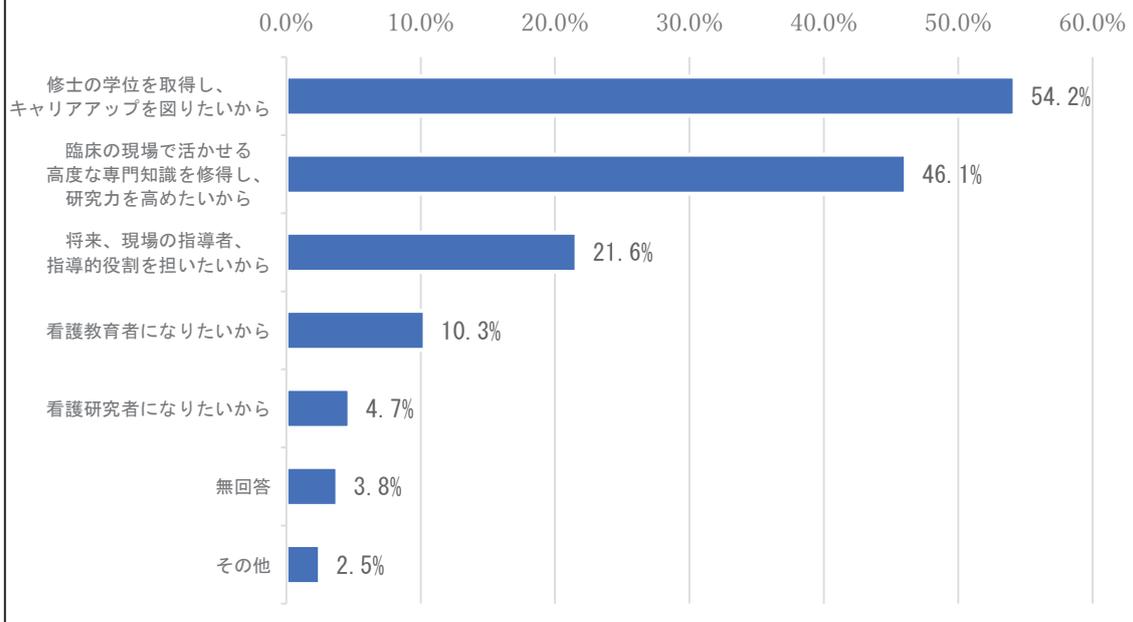
2-1 問 5 では、2-1 問 4 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 30 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」に受験を希望する理由について質問した。その結果は、回答の多い順に「高度な専門知識を修得したいから」が 16 人（53.3%）、「修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから」が 14 人（46.7%）、「働きながら学べるから」が 10 人（33.3%）、「将来、現場の指導者、指導的役割を担いたいから」が 9 人（30.0%）、「学びたい領域があるから」が 6 人（20.0%）、「教育内容や特色に関心があるから」が 6 人（20.0%）、「母校だから」が 6 人（20.0%）、「看護教育者になりたいから」が 6 人（20.0%）、「茨城県内で進学したいから」が 3 人（10.0%）、「研究力を高めたいから」が 1 人（3.3%）、「看護研究者になりたいから」が 1 人（3.3%）であった。（※複数選択可）

2-2 問 9 では、2-2 問 8 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 319 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」に受験を希望する理由について質問した。その結果は、回答の多い順に「修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから」が 173 人（54.2%）、「臨床の現場で活かせる高度な専門知識を修得し、研究力を高めたいから」が 147 人（46.1%）、「将来、現場の指導者、指導的役割を担いたいから」が 69 人（21.6%）、「看護教育者になりたいから」が 33 人（10.3%）、「看護研究者になりたいから」が 15 人（4.7%）、「その他」が 8 人（2.5%）であった。（※複数選択可）

グラフ 本研究科への受験を希望する理由（「2-1問5(学部生)」結果より）



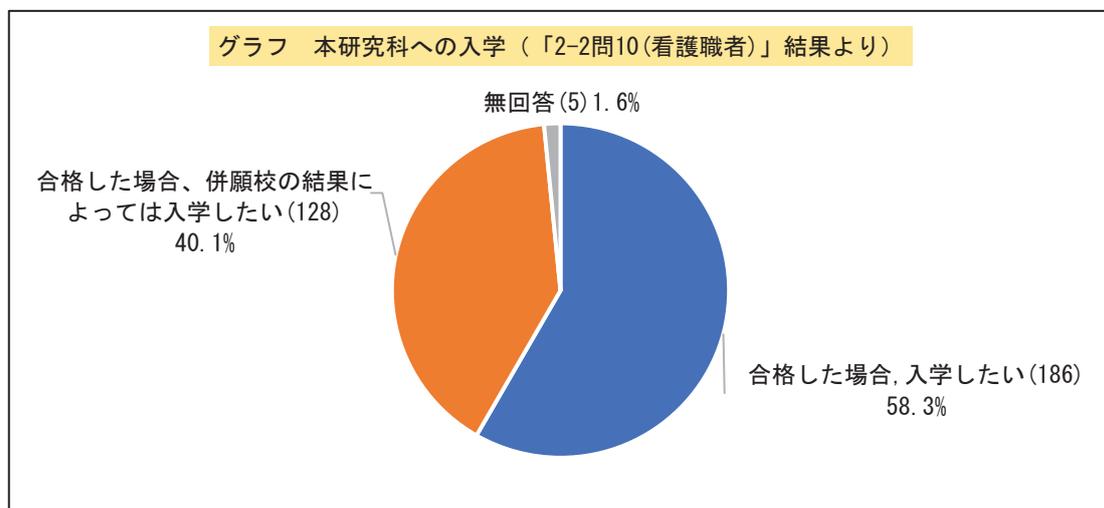
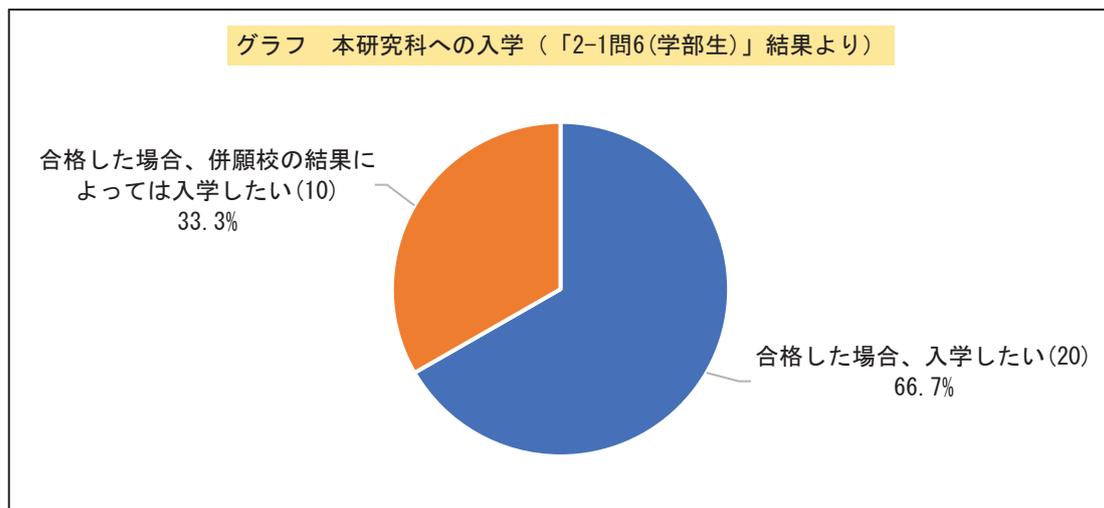
グラフ 本研究科への受験を希望する理由（「2-2問9(看護職者)」結果より）



● 学部生のうち、本研究科への受験意欲を示し、入学の意欲を示したのは 20 人
 現看護職者のうち、本研究科への受験意欲を示し、入学の意欲を示したのは 192 人

2-1 問 6 では、2-1 問 4 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 30 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の入学の意欲について質問した。その結果は、「合格した場合、入学したい」が 20 人（66.7%）、「合格した場合、併願校の結果によっては入学したい」が 10 人（33.3%）であった。

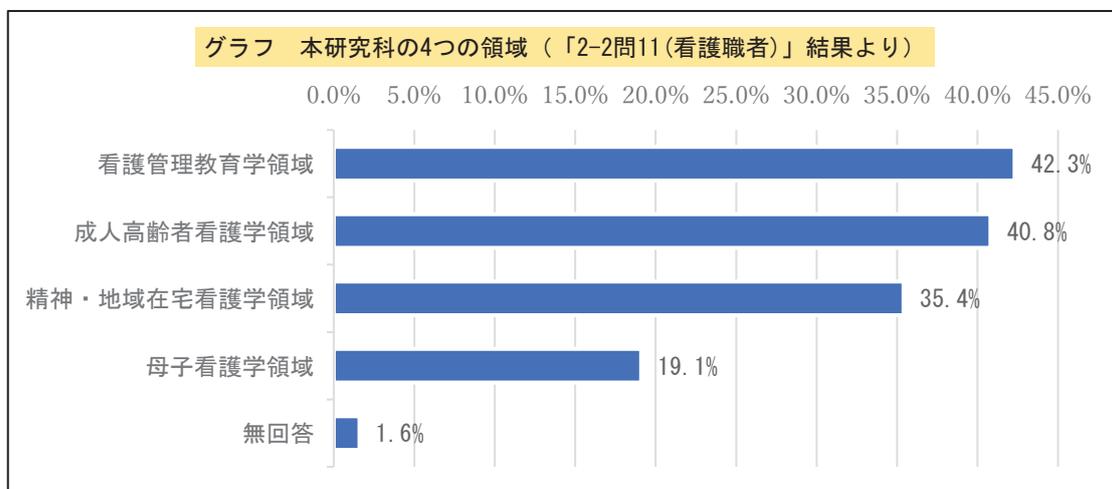
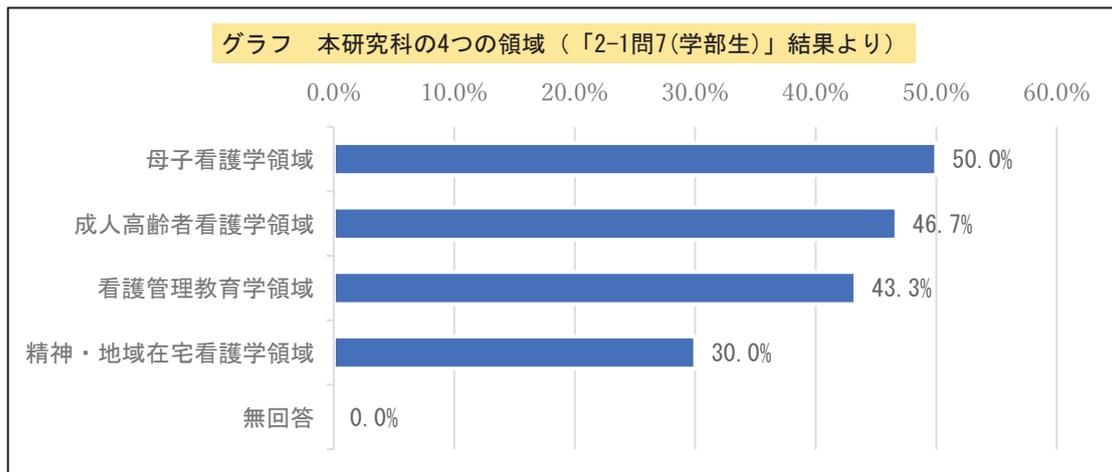
2-2 問 10 では、2-2 問 8 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 319 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の入学の意欲について質問した。その結果は、「合格した場合、入学したい」が 186 人（58.3%）、「合格した場合、併願校の結果によっては入学したい」が 128 人（40.1%）であった。



● 本研究科の4つのどの領域にも、興味を示す

2-1問7では、2-1問4の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022年4月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した30人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻(修士課程)（仮称）」の興味のある領域について質問した。その結果は、「母子看護学領域」が15人(50.0%)、「成人高齢者看護学領域」が14人(46.7%)、「看護管理教育学領域」が13人(43.3%)、「精神・地域在宅看護学領域」が9人(30.0%)であった。（※複数選択可）

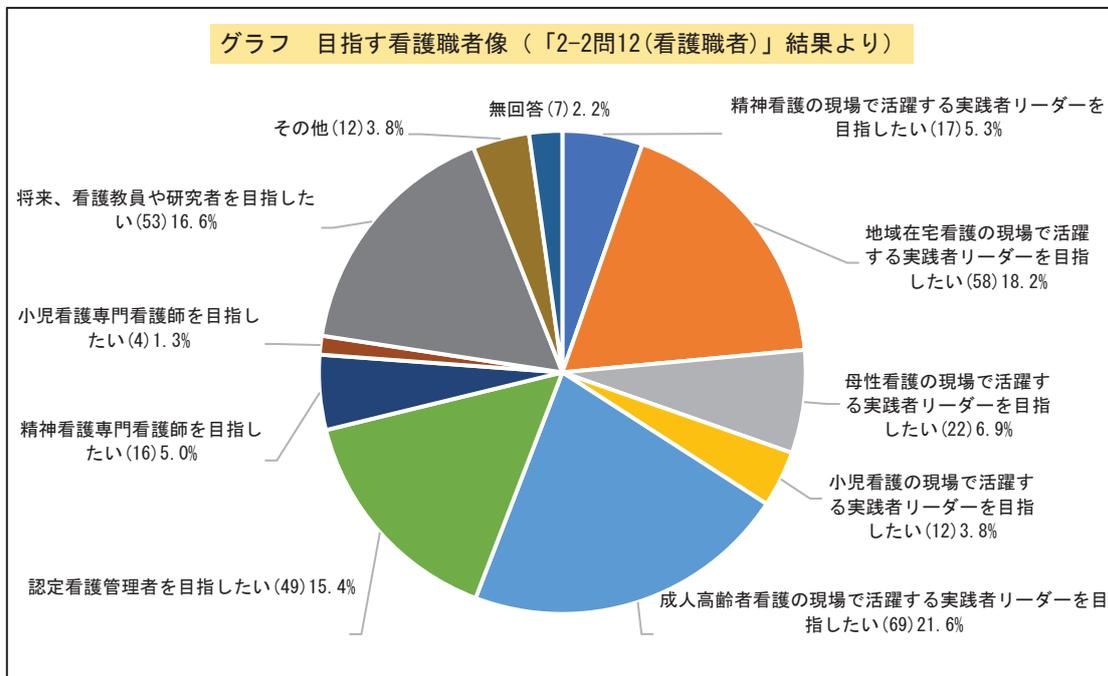
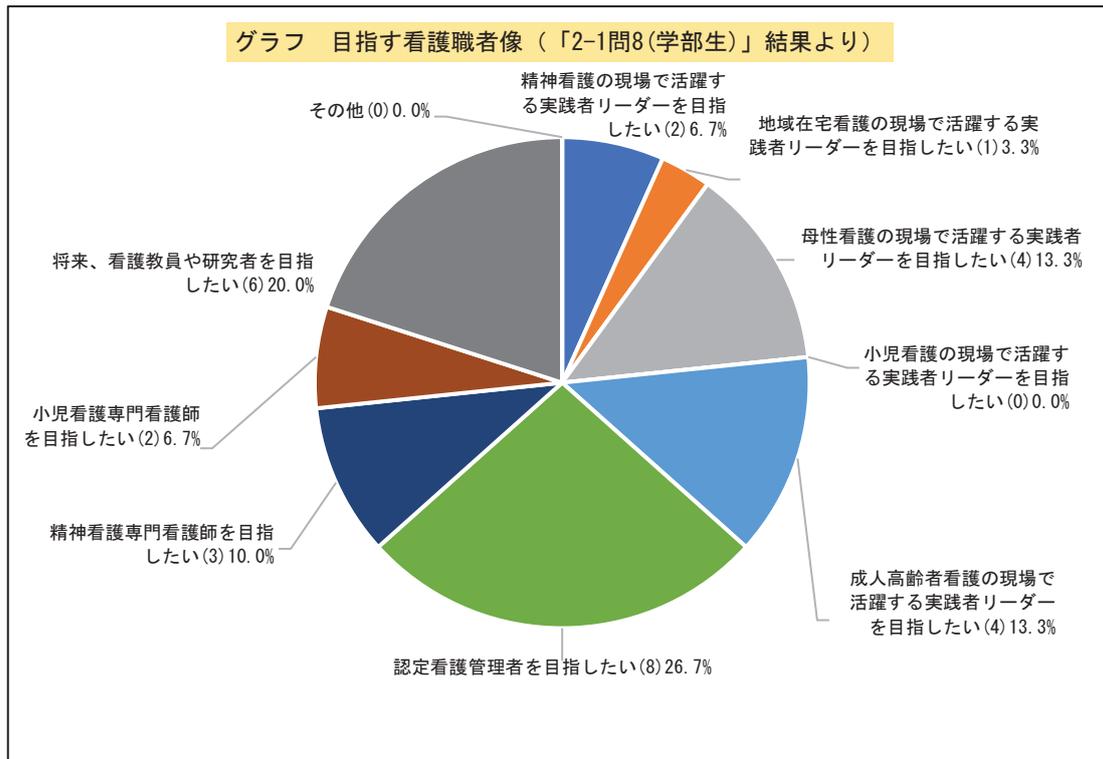
2-2問11では、2-2問8の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022年4月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した319人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻(修士課程)（仮称）」の興味のある領域について質問した。その結果は、「看護管理教育学領域」が135人(42.3%)、「成人高齢者看護学領域」が130人(40.8%)、「精神・地域在宅看護学領域」が113人(35.4%)、「母子看護学領域」が61人(19.1%)であった。（※複数選択可）



● 学部生は、「認定看護管理者を目指したい」が 26.7%、看護職者では、「成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 21.6%

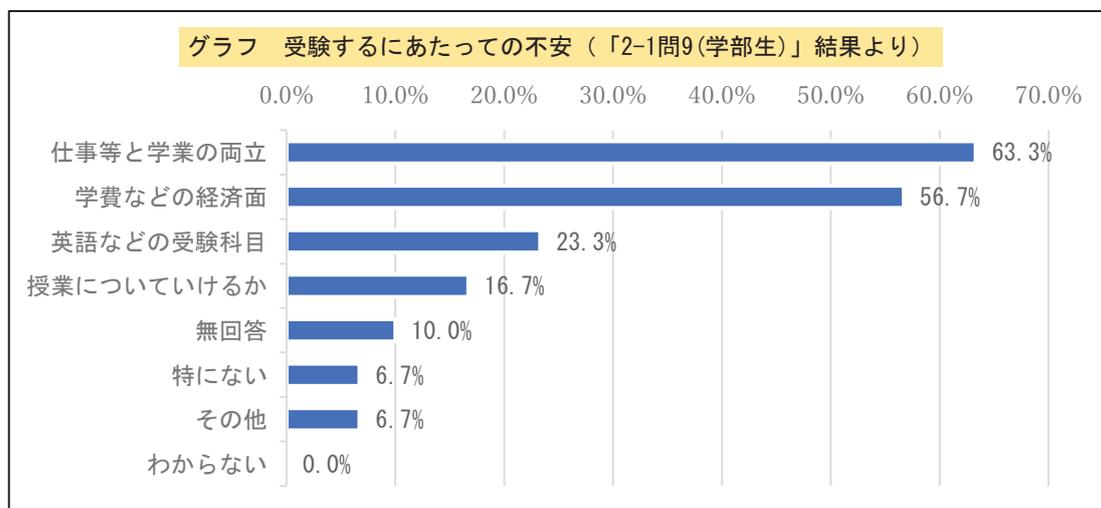
2-1 問 8 では、2-1 問 4 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 30 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の目指す看護職者像について質問した。その結果は、回答の多い順に「認定看護管理者を目指したい」が 8 人（26.7%）、「将来、看護教員や研究者を目指したい」が 6 人（20.0%）、「母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 4 人（13.3%）、「成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 4 人（13.3%）、「精神看護専門看護師を目指したい」が 3 人（10.0%）、「精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 2 人（6.7%）、「小児看護専門看護師を目指したい」が 2 人（6.7%）、「地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 1 人（3.3%）、「小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 0 人であった。

2-2 問 12 では、2-2 問 8 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 319 人に対して、常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の目指す看護職者像について質問した。その結果は、回答の多い順に「成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 69 人（21.6%）、「地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 58 人（18.2%）、「将来、看護教員や研究者を目指したい」が 53 人（16.6%）、「認定看護管理者を目指したい」が 49 人（15.4%）、「母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 22 人（6.9%）、「精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 17 人（5.3%）、「精神看護専門看護師を目指したい」が 16 人（5.0%）、「小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい」が 12 人（3.8%）、「小児看護専門看護師を目指したい」が 4 人（1.3%）、「その他」が 12 人（3.8%）であった。



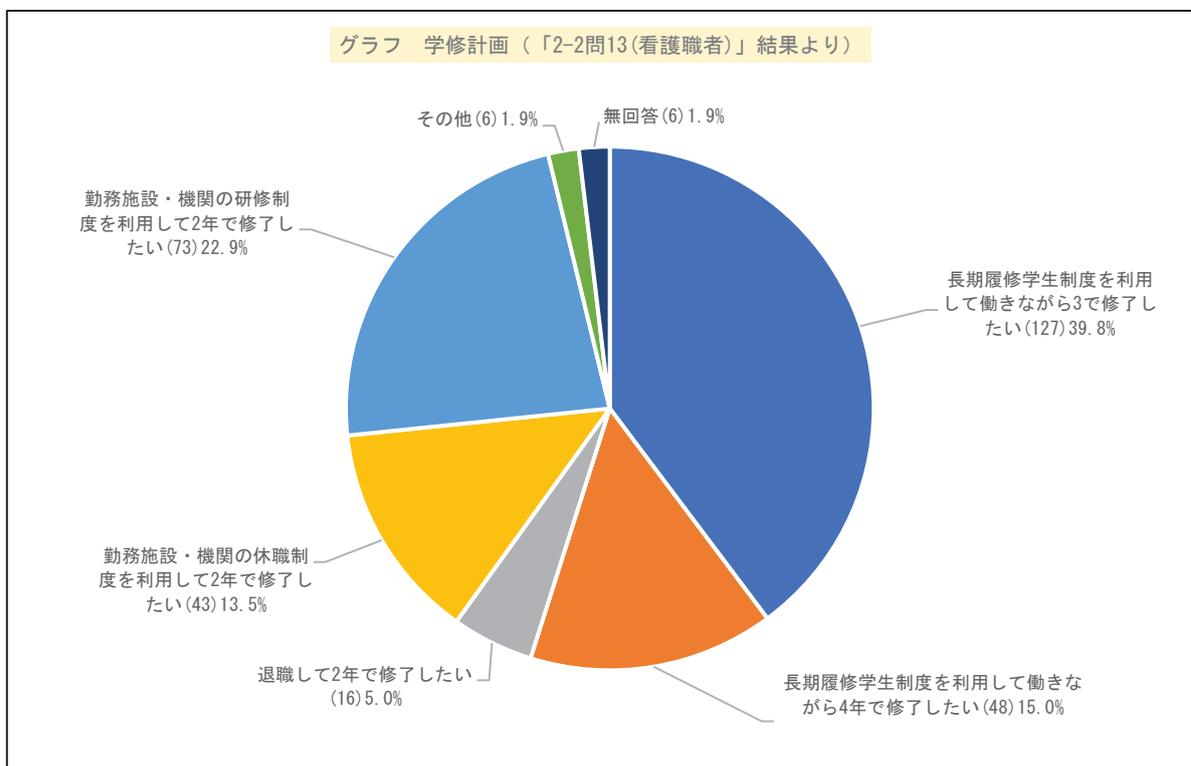
● 受験の意欲を示した学部生のうち、本研究科を受験するにあたっての不安は「仕事等と学業の両立」が 63.3%、「学費などの経済面」が 56.7%

2-1 問 9 では、2-1 問 4 の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した 30 人に対して、本研究科を受験するにあたっての不安について質問した。その結果は、回答の多い順に「仕事等と学業の両立」が 19 人(63.3%)、「学費などの経済面」が 17 人(56.7%)、「英語などの受験科目」が 7 人(23.3%)、「授業についていけるか」が 5 人(16.7%)、「特にない」が 2 人(6.7%)であった。（※複数選択可）



● 受験の意欲を示した現看護職者の本研究科に進学する際の学修計画について「長期履修学生制度を利用して働きながら3年で修了したい」が約4割。

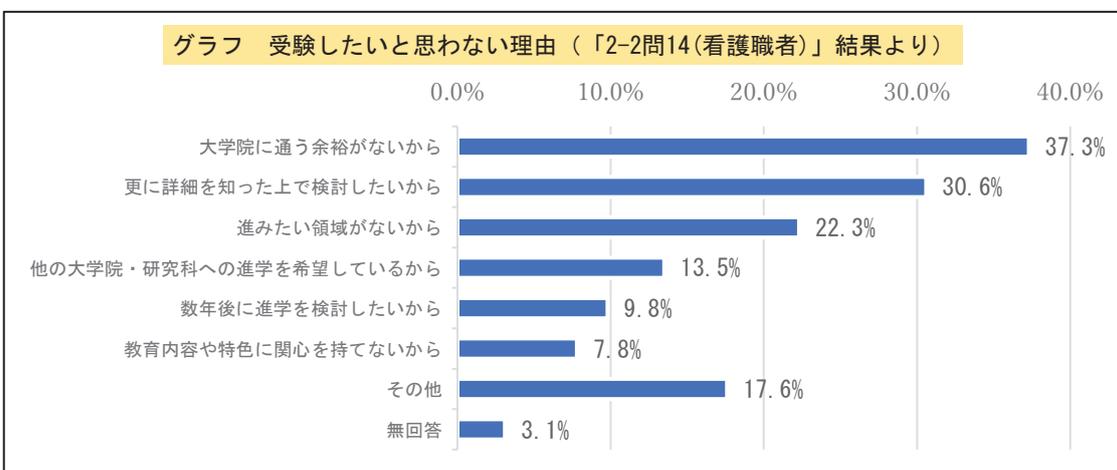
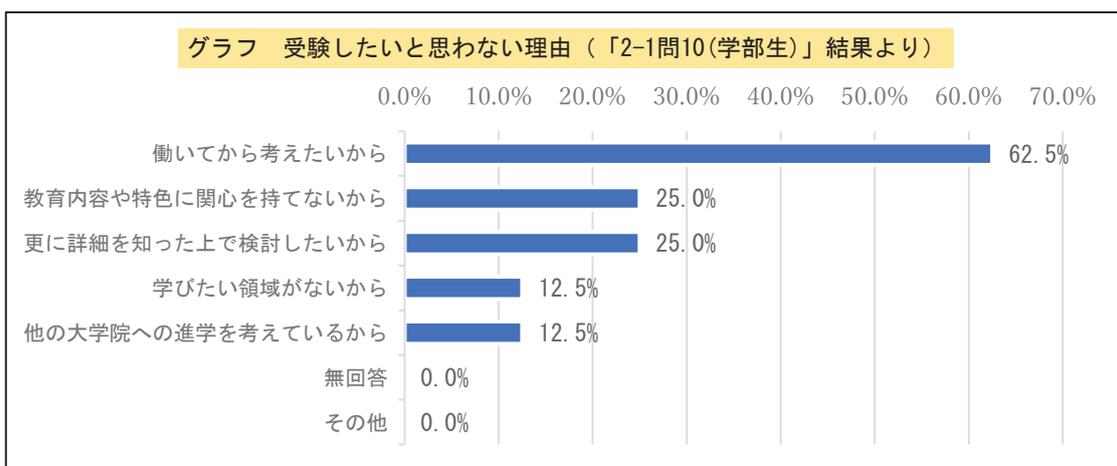
2-2問13では、2-2問8の本研究科への受験の意欲を示した「開設初年度（2022年4月入学）に受験したい」、「将来、必要に応じて受験したい」と回答した319人に対して、本研究科に進学する際の学修計画について質問した。その結果は、回答の多い順に「長期履修学生制度を利用して働きながら3年で修了したい」が127人(39.8%)、「勤務施設・機関の研修制度を利用して2年で修了したい」が73人(22.9%)、「長期履修学生制度を利用して働きながら4年で修了したい」が48人(15.0%)、「勤務施設・機関の休職制度を利用して2年で修了したい」が43人(13.5%)、「退職して2年で修了したい」が16人(5.0%)、「その他」が6人(1.9%)であった。



● 学部生は、「働いてから考えたいから」が 45. 5%、
看護職者では、「大学院に通う余裕がないから」が 26. 0%

2-1 問 10 では、2-1 問 4 で「受験したいと思わない」と回答した 8 人に対して、受験したいと思わない理由について質問した。その結果は、回答の多い順に「働いてから考えたいから」が 5 人(62. 5%)、「教育内容や特色に関心を持ってないから」が 2 人(25. 0%)、「更に詳細を知った上で検討したいから」が 2 人(25. 0%)、「学びたい領域がないから」が 1 人(12. 5%)、「他の大学院への進学を考えているから」が 1 人(12. 5%)であった。(※複数選択可)

2-2 問 14 では、2-2 問 8 で「受験したいと思わない」と回答した 193 人に対して、受験したいと思わない理由について質問した。その結果は、回答の多い順に「大学院に通う余裕がないから」が 72 人(37. 3%)、「更に詳細を知った上で検討したいから」が 59 人(30. 6%)、「進みたい領域がないから」が 43 人(22. 3%)、「他の大学院・研究科への進学を希望しているから」が 26 人(13. 5%)、「数年後に進学を検討したいから」が 19 人(9. 8%)、「教育内容や特色に関心を持ってないから」が 15 人(7. 8%)、「その他」が 34 人(17. 6%)であった。(※複数選択可)



● 学部生 7 人、看護職者 6 人が、開設初年度に入学意欲を示す

大学院への進学意欲（2-1 問 3・2-2 問 7）を示した、本研究科への受験意欲（2-1 問 4・2-2 問 8）および入学意欲（2-1 問 6・2-2 問 10）のクロス集計の結果は、以下の通りである。

		合格した場合、 入学したい	合格した場合、併 願校の結果によ っては入学したい	無回答	合計
学部生	開設初年度(2022 年 4 月)に受験したい	7	0	0	7
	将来,必要に応じて 受験したい	13	10	0	23
現 看 護 職 者	開設初年度(2022 年 4 月)に受験したい	6	1	0	7
	将来,必要に応じて 受験したい	180	127	5	312
合計		206	138	5	349

上記のクロス集計より、「開設初年度（2022 年 4 月）に受験したい」且つ、「合格した場合、入学したい」と回答した者は、学部生 7 人、現看護職者 6 人の合計 13 人であり、本研究科の予定する入学定員の 6 名を上回る入学の意欲が示される回答であった。

また、「開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい」と回答した学部生の学年別内訳は、次の（2-1 問 2）クロス集計の結果の通りである。7 人すべてが、本研究科が開設する 2022 年 4 月に入学可能な 3 年生であった。

選択項目		2 年生		3 年生	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	開設初年度（2022 年 4 月入学）に受験したい	0	0.0%	7	31.8%
2	将来、必要に応じて受験したい	8	100.0%	15	68.2%
合計		8	100.0%	22	100.0%

なお、「将来、必要に応じて受験したい」且つ、「合格した場合、入学したい」と回答し

た者は、合計 193 人（学部生 13 人、現看護職者 180 人）であった。

以上の結果より、常磐大学大学院が令和 4 年 4 月に設置構想する「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の学生確保の見通しは、予定する入学定員の 6 名を上回る入学の意欲が示される回答結果であるため、問題なしと判断できる。

添付資料

「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程) (仮称)
設置構想に係る入学意向アンケート調査」(対象：学部生) 用紙

「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程) (仮称)
設置構想に係る入学意向アンケート調査」(対象：現看護職者) 用紙

「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程) (仮称)
基本情報・養成する人材像・教育の特色①② (概要)

常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称）

2022年4月に向け設置構想中

設置構想に係る入学意向アンケート調査

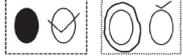
（対象：学部生の皆様）



常磐大学大学院は、2022年4月に、看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称）の設置を構想しております。本学では、このアンケート調査を通して、皆様から様々なご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、設置に係る統計資料並びに文部科学省への設置認可申請書類の一部資料としてのみ活用いたします。何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は、常磐大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

正しい回答 誤った回答



問1 あなたの居住地を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 茨城県水戸市 茨城県（県南地域） 茨城県（県西地域） 茨城県（水戸市以外の県央地域）
 茨城県（県北地域） 茨城県（鹿行地域） 茨城県以外

問2 あなたの現在の学年を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 2年生 3年生

問3 あなたは他大学の大学院も含め大学院への進学についてどのように考えていますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 学部卒業と同時に進学を希望する ⇒問4～10にお答えください
 条件が合えば進学を希望する ⇒問4～10にお答えください
 将来的に進学を希望する ⇒問4～10にお答えください
 進学に興味がある ⇒問4～10にお答えください
 進学を希望しない ⇒質問は以上となります
 わからない ⇒質問は以上となります

問4以降にお答えいただく前に、設置構想中の「常磐大学大学院看護学研究科修士課程（仮称）」の資料をご覧ください。

問4 あなたは本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 開設初年度（2022年4月入学）に受験したい ⇒問5～9にお答えください
 将来、必要に応じて受験したい ⇒問5～9にお答えください
 受験したいと思わない ⇒問10にお答えください

質問は次ページに続きます。





問5 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を受験したいと思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="radio"/> 学びたい領域があるから | <input type="radio"/> 教育内容や特色に関心があるから |
| <input type="radio"/> 働きながら学べるから | <input type="radio"/> 茨城県内で進学したいから |
| <input type="radio"/> 母校だから | <input type="radio"/> 高度な専門知識を修得したいから |
| <input type="radio"/> 研究力を高めたいから | <input type="radio"/> 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから |
| <input type="radio"/> 将来、現場の指導者、指導的役割を担いたいから | <input type="radio"/> 看護教育者になりたいから |
| <input type="radio"/> 看護研究者になりたいから | <input type="radio"/> その他 <input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/> |

問6 あなたは、本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を受験し、合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、併願校の結果によっては入学したい

問7 本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）では、4つの領域を検討しています。あなたが興味をもつ領域を教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 看護管理教育学領域 母子看護学領域 精神・地域在宅看護学領域 成人高齢者看護学領域

問8 本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）は、「看護系高度専門職業人」および「将来の『教育研究者』」の養成を目指しています。あなたが大学院教育を通して目指す看護職者像について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 認定看護管理者を目指したい
- 精神看護専門看護師を目指したい
- 小児看護専門看護師を目指したい
- 将来、看護教員や研究者を目指したい
- その他

質問は次ページに続きます。





問9 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を受験するにあたって、不安だと思うことはありますか。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|------------------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 学費などの経済面 | <input type="radio"/> 仕事等と学業の両立 |
| <input type="radio"/> 英語などの受験科目 | <input type="radio"/> 授業についていけるか |
| <input type="radio"/> わからない | <input type="radio"/> 特にない |
| <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> | |

問10 あなたが本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を「受験したいと思わない」と回答された理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- | | |
|-----------------------------------------|------------------------------------------------|
| <input type="radio"/> 学びたい領域がないから | <input type="radio"/> 教育内容や特色に関心を持ってないから |
| <input type="radio"/> 他の大学院への進学を考えているから | <input type="radio"/> 働いてから考えたいから |
| <input type="radio"/> 更に詳細を知った上で検討したいから | <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。





常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称）

2022年4月に向け設置構想中

設置構想に係る入学意向アンケート調査

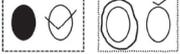
（対象：現看護職の皆様）



常磐大学大学院は、2022年4月に、看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称）の設置を構想しております。本学では、このアンケート調査を通して、皆様から様々なご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、設置に係る統計資料並びに文部科学省への設置認可申請書類の一部資料としてのみ活用いたします。何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は、常磐大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

正しい回答 誤った回答



問1 あなたの居住地を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 茨城県水戸市 茨城県（県南地域） 茨城県（県西地域） 茨城県（水戸市以外の県央地域）
 茨城県（県北地域） 茨城県（鹿行地域） 茨城県以外 都道府県

問2 あなたが保有している免許を教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 看護師 保健師 助産師 准看護師 その他

問3 あなたの現在の職業を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 看護師 保健師 助産師 准看護師 看護教員 その他

問4 あなたの看護職（看護師・保健師・助産師・看護教員）としての総経年数を教えてください。（2020年11月1日現在までの年数を下枠に記入）

年（2020年11月1日現在）

問5 あなたが現在勤務している職場を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 病院 訪問看護ステーション 地方自治体 看護専門学校 その他

問6 あなたの最終学歴を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 看護専門学校卒業 看護系短期大学卒業 大学卒業（看護系以外）
 看護系大学卒業 看護系大学院修了 大学院修了（修士課程看護系以外）
 その他

問7 あなたは他の大学院も含め一般的に大学院への進学についてどのように考えていますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 直ちに進学を希望する ⇒問8～13にお答えください
 条件が合えば直ちに進学を希望する ⇒問8～13にお答えください
 将来的に進学を希望する ⇒問8～13にお答えください
 進学に興味がある ⇒問8～13にお答えください
 わからない ⇒質問は以上となります
 進学を希望しない ⇒質問は以上となります

質問は次ページに続きます。





問8以降にお答えいただく前に、設置構想中の「常磐大学大学院看護学研究科修士課程（仮称）」の資料をご覧ください。

問8 あなたは常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 開設初年度（2022年4月入学）を受験したい 将来、必要に応じて受験したい
- 受験したいと思わない ⇒問14へお進みください

問9 あなたが常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）への受験を希望する理由を教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 臨床の現場で活かせる高度な専門知識を修得し、研究力を高めたいから
- 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいから
- 将来、現場の指導者、指導的役割を担いたいから
- 看護教育者になりたいから
- 看護研究者になりたいから
- その他

問10 あなたは常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 合格した場合、入学したい 合格した場合、併願校の結果によっては入学したい

問11 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）では、4つの領域を検討しています。あなたが興味をもつ領域を教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 看護管理教育学領域 母子看護学領域 精神・地域在宅看護学領域 成人高齢者看護学領域

問12 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）は、「看護系高度専門職業人」および「将来の『教育研究者』」の養成を目指しています。あなたが大学院教育を通して目指す看護職者像について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい 地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい 小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい
- 成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指したい 認定看護管理者を目指したい
- 精神看護専門看護師を目指したい 小児看護専門看護師を目指したい
- 将来、看護教員や研究者を目指したい その他

質問は次ページに続きます。





問 13 あなたが常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）に進学する際の学修計画について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 長期履修学生制度*を利用して働きながら3年で修了したい
- 長期履修学生制度*を利用して働きながら4年で修了したい
- 退職して2年で修了したい
- 勤務施設・機関の休職制度を利用して2年で修了したい
- 勤務施設・機関の研修制度を利用して2年で修了したい
- その他

*職業を有し就業している等により、修業年限（2年）を超えた一定の期間（3～4年）にわたって計画的に教育課程を履修し修了することを認められる制度です。この場合、標準修業年限（2年）と同額の学費で在籍することが可能です。

問 14 あなたが常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を「受験したいと思わない」と回答された理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 進みたい領域がないから

希望の領域：

- 教育内容や特色に関心を持ってないから
- 他の大学院・研究科への進学を希望しているから
- 大学院に通う余裕がないから
- 更に詳細を知った上で検討したいから
- 数年後に進学を検討したいから
- その他

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。







常磐大学大学院看護学研究科修士課程（仮称）

基本情報

〔 名 称 〕 看護学研究科看護学専攻 修士課程	〔 学 位 〕 看護学（修士）
〔 開設時期 〕 令和4（2022）年4月	〔 修業年限 〕 2年
〔 入学定員 〕 6名	

養成する人材像 ※裏面「養成する人材像」を参照ください。

常磐大学大学院看護学研究科（仮称、設置構想中）は、将来の予測不能な課題に果敢に挑戦し、予防から看取りまで新しい戦略を開発し、社会を先導する次世代型の保健医療人材となる『看護系高度専門職業人』および将来の『教育研究者』を養成します。

- リーダーシップと指導力、コミュニケーション力を備えた看護実践の変革者として活躍できる**実践者リーダー**
- 課程修了後に**専門看護師（精神看護・小児看護）**または**認定看護管理者の資格を取得**し、その専門性を生かして現場の課題解決に向けて活躍できる**高度専門職業人**
- 高度な専門的知識と能力を身に付け、未来の高度専門職業人の養成を目指して、将来博士課程に進学し、高等教育（特に大学院教育）を担う**教育研究者**

教育の特色① 多様な学生の学修ニーズに合わせた教育課程・指導体制

- 本研究科で学ぶことの意義や研究の学術的基盤を形成するための「**共通科目**」
- 看護現象を幅広い見地から探求し、高度な実践能力を身につけるための「**専門支持科目**」
- 専門領域における学際的で最新の知識、高度な実践能力、教育能力、研究能力を修得するための「**専門科目**」
- 実践の場でこれまで学修した知識やスキルを具現化し、自らのパフォーマンスを客観視することで、獲得した能力のレベルを確認するとともに更なる学修の方向性を認識する能力を身につけるための「**実習科目**」
- 教務アドバイザーによる入学前から修了までの**履修相談体制**、研究指導教員および副研究指導教員による**複数指導体制**

教育の特色② 多様な学生の学修ニーズに合わせた教育環境・制度

- 社会人学生への配慮**
 - ①遠隔授業の実施（*1）
 - ②長期履修学生制度（3年または4年）（*2）
 - ③夜間（18：00以降）、土・日を中心に授業を開講（*3）
- 学外から閲覧可能な電子書籍**（*4）
- 6：00～22：00まで利用可能な学修スペース（院生室）**

（*1）但し、一部の科目については、科目の性質上面接形式の授業展開となります。遠隔授業を受けるにあたり、必要な環境（インターネット）および機器は学生自身が準備する必要があります。
 （*2）標準修業年限（2年）の学費と同額で、計画的に3～4年をかけて履修できる制度です。
 （*3）但し、一部の科目については、昼間に開講される場合があります。
 （*4）電子書籍に対応していない図書は、大学図書館での閲覧または貸し出しになります。

〔 学 費 〕

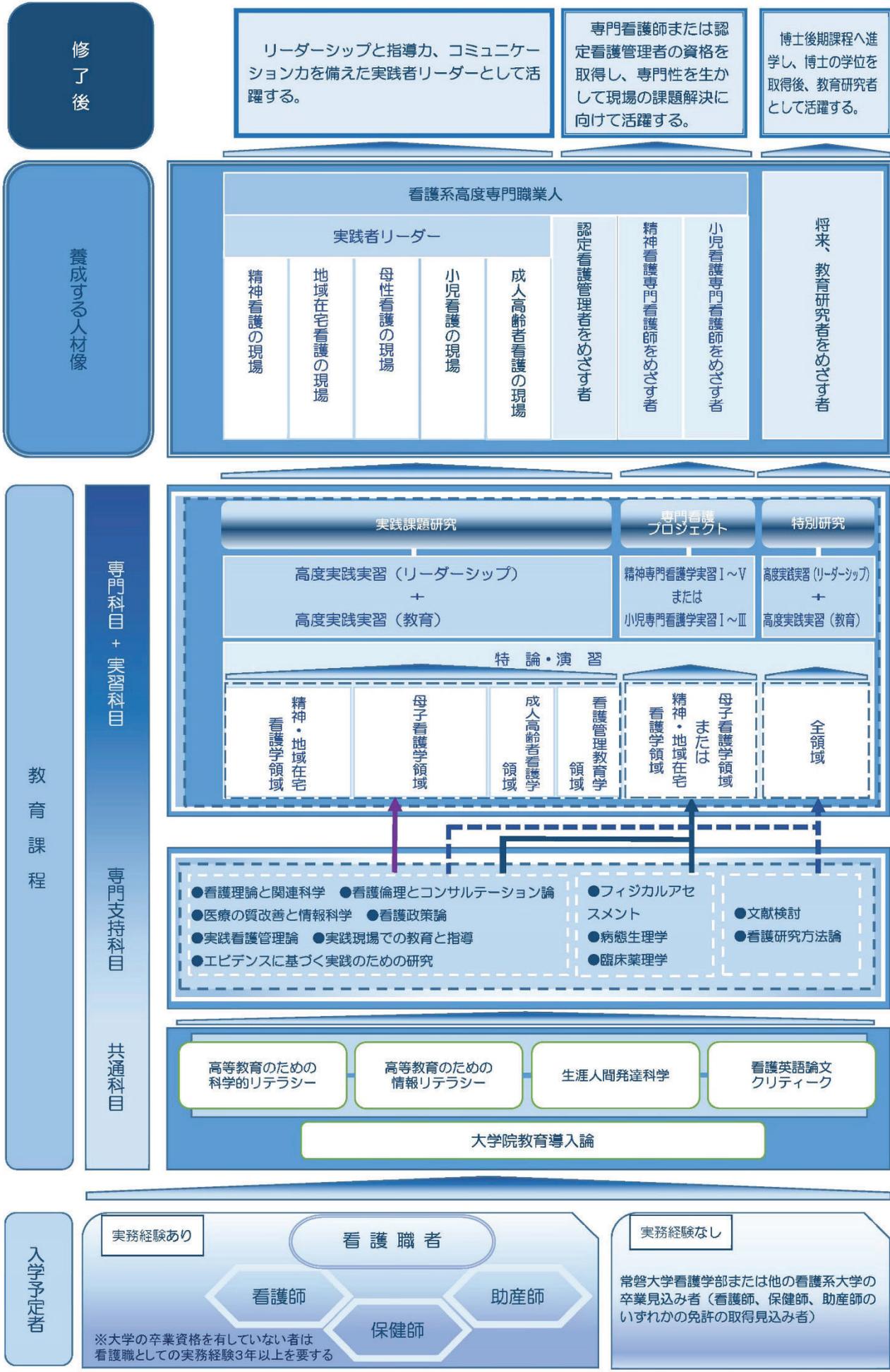
学 費 (見込み)	初 年 度		次年度以降
	入 学 金 ^{*1}	在 籍 料 ^{*2}	在 籍 料 ^{*2}
	120,000	1,080,000	1,080,000

*1 常磐大学卒業生は、入学金の半額を免除します。
 *2 基本料および履修費

〔 開設場所 〕



※記載の内容は構想中であり、今後名称や内容が変更になる場合があります。



2020年度入学生初年度納付金一覧【大学院】
— 全国〔看護学系統〕 —

No.	大学院名	学部学科名	所在地	出身	2019(H31R1)年度入学生 初年度納付金額										2020(R2)年度入学生 初年度納付金額										大学院名	No.	
					入学検定料	入学金	授業料	施設設備費	実験・実習・体育費	教育充実費特別納付金	維持費他	入学年次総額	入学検定料	入学金	授業料	施設設備費	実験・実習・体育費	教育充実費特別納付金	維持費他	入学年次総額	改定額	改定状況					
																						検定料	入学金	授業料			
1	天 使	看護栄養学	看護学	北海道	学内	30,000	0	960,000	200,000	100,000	0	0	1,260,000	30,000	0	680,000	0	50,000	0	0	730,000	△ 530,000			↓	天 使	1
					他大学	30,000	150,000	960,000	200,000	100,000	0	0	1,410,000	30,000	150,000	960,000	0	50,000	0	0	1,160,000	△ 250,000			↓		
2	日本赤十字北海道看護	看護学	看護学	北海道	学内	30,000	0	900,000	0	130,000	0	130,000	1,200,000	30,000	0	900,000	0	130,000	0	130,000	1,200,000	0				日本赤十字北海道看護	2
					他大学	30,000	300,000	900,000	0	150,000	0	150,000	1,500,000	30,000	300,000	900,000	0	150,000	0	150,000	1,500,000	0					
3	北海道医療	看護福祉学	看護学	北海道	学内	30,000	0	400,000	0	0	0	400,000	30,000	0	400,000	0	0	0	0	400,000	0					北海道医療	3
					他大学	30,000	200,000	800,000	0	0	0	0	1,000,000	30,000	200,000	800,000	0	0	0	0	1,000,000	0					
4	北海道科学	保健医療学	看護学	北海道	学内	30,000	0	800,000	0	0	0	800,000	30,000	0	800,000	0	0	0	0	800,000	0					北海道科学	4
					他大学	30,000	200,000	800,000	0	0	0	0	1,000,000	30,000	200,000	800,000	0	0	0	0	1,000,000	0					
5	茨城キリスト	看護学	看護学	茨城	学内	32,000	100,000	807,000	300,000	0	0	1,207,000	32,000	100,000	810,000	300,000	0	0	0	1,210,000	3,000			↑	茨城キリスト	5	
					他大学	32,000	200,000	807,000	300,000	0	0	1,307,000	32,000	200,000	810,000	300,000	0	0	0	0	1,310,000	3,000					↑
6	国際医療福祉	保健医療学	看護学	栃木	学内	30,000	0	800,000	200,000	0	0	1,000,000	30,000	0	800,000	200,000	0	0	0	1,000,000	0					国際医療福祉	6
					他大学	30,000	300,000	800,000	200,000	0	0	1,300,000	30,000	300,000	800,000	200,000	0	0	0	0	1,300,000	0					
7	自治医科	看護学	看護学	栃木	学内	30,000	282,000	885,800	0	0	0	867,800	30,000	282,000	885,800	0	0	0	0	867,800	0					自治医科	7
					他大学	30,000	282,000	885,800	0	0	0	867,800	30,000	282,000	885,800	0	0	0	0	0	867,800	0					
8	獨協医科	看護学	看護学	栃木	学内	30,000	200,000	600,000	0	0	0	800,000	30,000	200,000	600,000	0	0	0	0	800,000	0					獨協医科	8
					他大学	30,000	200,000	600,000	0	0	0	800,000	30,000	200,000	600,000	0	0	0	0	0	800,000	0					
9	群馬八一	保健科学	看護学	群馬	学内	30,000	100,000	850,000	0	0	0	1,050,000	30,000	100,000	850,000	0	0	0	0	1,050,000	0					群馬八一	9
					他大学	30,000	100,000	850,000	0	0	0	1,050,000	30,000	100,000	850,000	0	0	0	0	0	1,050,000	0					
10	高崎健康福祉	保健医療学	看護学	群馬	学内	10,000	0	350,000	0	0	0	350,000	10,000	0	350,000	0	0	0	0	350,000	0					高崎健康福祉	10
					他大学	30,000	100,000	700,000	0	0	0	800,000	30,000	100,000	700,000	0	0	0	0	0	800,000	0					
11	埼玉医科	看護学	看護学	埼玉	学内	30,000	0	700,000	200,000	0	0	900,000	30,000	0	700,000	200,000	0	0	0	900,000	0					埼玉医科	11
					他大学	30,000	300,000	700,000	200,000	0	0	1,200,000	30,000	300,000	700,000	200,000	0	0	0	0	1,200,000	0					
12	池田医科	看護学	看護学	千葉	学内	30,000	300,000	900,000	300,000	0	0	1,500,000	30,000	300,000	900,000	300,000	0	0	0	1,500,000	0					池田医科	12
					他大学	30,000	300,000	900,000	300,000	0	0	1,500,000	30,000	300,000	900,000	300,000	0	0	0	0	1,500,000	0					
13	淑 徳	看護学	看護学	千葉	学内	10,000	0	800,000	0	0	100,000	900,000	10,000	0	800,000	0	0	100,000	900,000	0					淑 徳	13	
					他大学	35,000	200,000	800,000	0	0	100,000	1,100,000	35,000	200,000	800,000	0	0	100,000	1,100,000	0							
14	聖 徳	看護学	看護学	千葉	学内	35,000	220,000	650,000	300,000	0	11,000	1,181,000	35,000	220,000	650,000	300,000	0	11,000	1,181,000	0					聖 徳	14	
					他大学	35,000	440,000	650,000	300,000	0	11,000	1,401,000	35,000	440,000	650,000	300,000	0	11,000	1,401,000	0							
15	千葉科	看護学	看護学	千葉	学内	35,000	0	680,000	100,000	200,000	0	980,000	35,000	0	680,000	100,000	200,000	0	0	980,000	0					千葉科	15
					他大学	35,000	200,000	680,000	100,000	200,000	0	1,180,000	35,000	200,000	680,000	100,000	200,000	0	0	1,180,000	0						
16	北 里	看護学	専門看護師	東京(神奈川)	学内	30,000	0	850,000	300,000	0	0	1,150,000	30,000	0	850,000	300,000	0	0	0	1,150,000	0					北 里	16
					他大学	30,000	400,000	850,000	300,000	0	0	1,550,000	30,000	400,000	850,000	300,000	0	0	0	1,550,000	0						
17	共立女子	看護学	看護学	東京	学内	30,000	150,000	900,000	100,000	0	0	1,150,000	30,000	150,000	900,000	100,000	0	0	0	1,150,000	0					共立女子	17
					他大学	30,000	300,000	900,000	100,000	0	0	1,300,000	30,000	300,000	900,000	100,000	0	0	0	1,300,000	0						
18	杏 林	保健学	看護学	東京	学内	35,000	250,000	800,000	200,000	0	0	1,250,000	35,000	250,000	800,000	200,000	0	0	0	1,250,000	0					杏 林	18
					他大学	35,000	250,000	800,000	200,000	0	0	1,250,000	35,000	250,000	800,000	200,000	0	0	0	1,250,000	0						
19	慶 應 義 塾	健康マネジメント	看護学	東京(神奈川)	学内	35,000	0	1,670,000	0	0	0	1,670,000	35,000	0	1,690,000	0	0	0	0	1,690,000	20,000			↑	慶 應 義 塾	19	
					他大学	35,000	0	1,670,000	0	0	0	1,670,000	35,000	0	1,690,000	0	0	0	0	0	1,690,000	20,000					↑
20	順 天 堂	医療看護学	看護学	東京(千葉)	学内	30,000	200,000	550,000	0	50,000	0	800,000	30,000	200,000	550,000	0	50,000	0	0	800,000	0					順 天 堂	20
					他大学	30,000	200,000	550,000	0	50,000	0	800,000	30,000	200,000	550,000	0	50,000	0	0	0	800,000	0					
21	上 智	総合人間科学	看護学	東京	学内	35,000	0	915,000	0	83,000	180,000	1,238,000	35,000	0	915,000	0	83,000	180,000	60,000	1,238,000	0					上 智	21
					他大学	35,000	200,000	915,000	0	83,000	180,000	60,000	1,438,000	35,000	200,000	915,000	0	83,000	180,000	60,000	1,438,000	0					
22	聖 路 加 国 際	看護学	看護学	東京	学内	40,000	400,000	1,200,000	150,000	0	0	1,750,000	40,000	400,000	1,200,000	150,000	0	0	0	1,750,000	0					聖 路 加 国 際	22
					他大学	40,000	400,000	1,200,000	150,000	0	0	1,750,000	40,000	400,000	1,200,000	150,000	0	0	0	1,750,000	0						
23	帝 京	保健学	看護学	東京	学内	35,000	120,000	600,000	180,000	0	0	900,000	35,000	120,000	600,000	180,000	0	0	0	900,000	0					帝 京	23
					他大学	35,000	200,000	600,000	180,000	0	0	980,000	35,000	200,000	600,000	180,000	0	0	0	980,000	0						
24	帝 京 平 成	看護学	看護学	東京	学内	0	0	760,000	200,000	0	0	960,000	0	0	760,000	200,000	0	0	0	960,000	0					帝 京 平 成	24
					他大学	35,000	200,000	760,000	200,000	0	0	1,160,000	35,000	200,000	760,000	200,000	0	0	0	1,160,000	0						
25	東 海	健康科学	看護学	東京(神奈川)	学内	35,000	150,000	735,000	0	211,000	0																

2020年度入学生初年度納付金一覧【大学院】
— 全国〔看護学系統〕 —

No.	大学院名	学部	学科名	所在地	出身	2019(H31R1)年度入学生 初年度納付金額										2020(R2)年度入学生 初年度納付金額										大学院名	No.
						入学検定料	入学金	授業料	施設設備費	実験・実習・体育費	教育充実費特別納付金	維持費他	入学年次総額	入学検定料	入学金	授業料	施設設備費	実験・実習・体育費	教育充実費特別納付金	維持費他	入学年次総額	改定額	改定状況				
																							検定料	入学金	授業料		
82	聖マリア学院	看護学	看護学	福岡	学内	30,000	0	850,000	200,000	0	0	0	1,050,000	30,000	0	850,000	200,000	0	0	0	1,050,000	0	0	0	聖マリア学院	82	
						他大	30,000	250,000	850,000	200,000	0	0	0	1,300,000	30,000	250,000	850,000	200,000	0	0	0	1,300,000	0	0			0
83	日本赤十字九州国際看護	看護学	看護学	福岡	学内	30,000	0	800,000	0	300,000	0	200,000	1,200,000	30,000	0	800,000	0	300,000	0	200,000	0	200,000	0	0	日本赤十字九州国際看護	83	
						他大	30,000	300,000	800,000	0	200,000	0	200,000	1,500,000	30,000	300,000	800,000	0	200,000	0	200,000	0	200,000	0			0
84	福岡医	学	看護学	福岡	学内	32,000	120,000	470,000	0	0	140,000	0	730,000	32,000	120,000	470,000	0	0	140,000	0	730,000	0	0	0	福岡	84	
						他大	32,000	120,000	470,000	0	0	140,000	0	730,000	32,000	120,000	470,000	0	0	140,000	0	730,000	0	0			0
85	九州看護福祉	看護福祉	看護学	熊本	学内	35,000	100,000	700,000	100,000	0	0	0	900,000	35,000	100,000	700,000	100,000	0	0	0	900,000	0	0	0	九州看護福祉	85	
						他大	35,000	200,000	700,000	100,000	0	0	0	1,000,000	35,000	200,000	700,000	100,000	0	0	0	1,000,000	0	0			0
全国データ(学内出身)【85校】					平均値	29,282	99,341	717,795	65,800	24,941	42,082	15,001	962,758	28,929	90,047	740,584	66,153	25,224	42,318	12,064	976,388	△ 12,337	平均値	全国データ(学内出身)【85校】			
全国データ(他大出身)【85校】					最大値	40,000	400,000	1,670,000	300,000	300,000	315,000	250,000	1,750,000	40,000	400,000	1,690,000	300,000	300,000	315,000	200,000	1,750,000	33,000	最大値	全国データ(他大出身)【85校】			
全国データ(他大出身)【85校】					最小値	0	0	300,000	0	0	0	0	350,000	0	0	300,000	0	0	0	0	350,000	△ 530,000	最小値	全国データ(他大出身)【85校】			
全国データ(学内出身)【85校】					平均値	31,694	220,400	728,642	70,153	24,624	42,082	15,013	1,098,544	31,753	219,929	757,113	70,859	25,224	42,318	12,075	1,127,518	△ 4,220	平均値	全国データ(学内出身)【85校】			
全国データ(他大出身)【85校】					最大値	40,000	500,000	1,670,000	300,000	300,000	315,000	250,000	1,900,000	40,000	500,000	1,690,000	300,000	300,000	315,000	200,000	1,900,000	33,000	最大値	全国データ(他大出身)【85校】			
全国データ(学内出身)【85校】					最小値	15,000	0	300,000	0	0	0	0	575,000	15,000	0	300,000	0	0	0	0	600,000	△ 250,000	最小値	全国データ(学内出身)【85校】			
差異(学内出身-他大出身)					平均値	△ 2,412	△ 121,059	△ 10,847	△ 4,353	318	0	△ 12	△ 135,786	△ 2,824	△ 129,882	△ 16,529	△ 4,706	0	0	△ 12	△ 151,129	△ 15,344	平均値	差異(学内出身-他大出身)			
差異(学内出身-他大出身)					最大値	0	△ 100,000	0	0	0	0	0	△ 150,000	0	△ 100,000	0	0	0	0	0	△ 150,000	0	最大値	差異(学内出身-他大出身)			
差異(学内出身-他大出身)					最小値	△ 15,000	0	0	0	0	0	△ 225,000	△ 15,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 250,000	△ 25,000	最小値	差異(学内出身-他大出身)			
近県データ(学内出身)【11校】					平均値	27,455	109,273	627,073	113,636	18,182	0	10,091	878,255	27,455	109,273	711,436	127,273	18,182	0	10,091	976,255	952	平均値	近県データ(学内出身)【11校】			
近県データ(学内出身)【11校】					最大値	35,000	300,000	807,000	300,000	200,000	0	100,000	1,207,000	35,000	300,000	950,000	300,000	200,000	0	100,000	1,500,000	20,000	最大値	近県データ(学内出身)【11校】			
近県データ(学内出身)【11校】					最小値	10,000	0	350,000	0	0	0	0	350,000	10,000	0	350,000	0	0	0	0	350,000	0	最小値	近県データ(学内出身)【11校】			
近県データ(他大出身)【11校】					平均値	31,545	238,364	658,891	113,636	18,182	0	10,091	1,039,164	31,545	238,364	743,255	127,273	18,182	0	10,091	1,137,164	952	平均値	近県データ(他大出身)【11校】			
近県データ(他大出身)【11校】					最大値	35,000	440,000	807,000	300,000	200,000	0	100,000	1,401,000	35,000	440,000	950,000	300,000	200,000	0	100,000	1,500,000	20,000	最大値	近県データ(他大出身)【11校】			
近県データ(他大出身)【11校】					最小値	30,000	100,000	450,000	0	0	0	0	575,000	30,000	100,000	585,800	0	0	0	0	800,000	0	最小値	近県データ(他大出身)【11校】			
差異(学内出身-他大出身)					平均値	△ 4,091	△ 129,091	△ 31,818	0	0	0	0	△ 160,909	△ 4,091	△ 129,091	△ 31,818	0	0	0	0	△ 160,909	0	平均値	差異(学内出身-他大出身)			
差異(学内出身-他大出身)					最大値	0	△ 140,000	0	0	0	0	0	△ 194,000	0	△ 140,000	0	0	0	0	0	194,000	0	最大値	差異(学内出身-他大出身)			
差異(学内出身-他大出身)					最小値	△ 20,000	△ 100,000	△ 100,000	0	0	0	0	△ 225,000	△ 20,000	△ 100,000	△ 235,800	0	0	0	0	△ 450,000	△ 225,000	最小値	差異(学内出身-他大出身)			

※ 2019(H31R1)年度入学生徴収額…日本私立大学団体連合会「学生納付金等調査(平成31年度入学生)」2019年6月報告書より転載。
 ※ 2020(R2)年度入学生徴収額…日本私立大学団体連合会「学生納付金等調査(令和2年度入学生)」2020年6月報告書より転載。
 ※ 記載なしの学校(21校)はHP・募集要項より参照。
 ※ [] … 近県大学院(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)【11校】
 ※ [] … 修士課程のみ設置している大学【45校】(HP参照)
 ※ 2020(R2)年度改定状況欄の記号は、下記のとおり。
 [↑] … 値上げ【検定料：1校(学内0・他大0・両方1)／入学金：0校(学内0・他大0・両方0)／授業料等：7校(学内0・他大・両方7)】
 [↓] … 値下げ【検定料：0校(学内0・他大0・両方0)／入学金：2校(学内1・他大1・両方0)／授業料等：2校(学内0・他大0・両方2)】
 [↔] … 科目間調整(授業料等総額は据置)【授業料等間：2校】

保健師助産師看護師の現状

平成30年度

一部抜粋

茨城県保健福祉部

3 年齢階層別
表11

区分		保健師		助産師		看護師		准看護師		合計		
		実人数	構成割合%	実人数	構成割合%	実人数	構成割合%	実人数	構成割合%	実人数	構成割合%	
就業数		男	23	-	-	1,826	-	604	-	2,453	-	
		女	1,132	100.00	740	100.00	20,198	100.00	6,492	100.00	28,562	100.00
		計	1,155		740		22,024		7,096		31,015	
年	19歳以下	男	0	-	-	0	-	0	-	0	-	
		女	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
		計	0		0		0		0		0	
	20～24	男	1	-	-	176	-	31	-	208	-	
		女	40	3.55	37	5.00	1,797	8.96	173	2.87	2,047	7.27
		計	41		37		1,973		204		2,255	
	25～29	男	8	-	-	290	-	58	-	356	-	
		女	134	12.29	95	12.84	2,345	11.96	196	3.58	2,770	10.08
		計	142		95		2,635		254		3,126	
	30～34	男	5	-	-	376	-	78	-	459	-	
		女	155	13.85	103	13.92	2,407	12.64	315	5.54	2,980	11.09
		計	160		103		2,783		393		3,439	
	35～39	男	7	-	-	324	-	88	-	419	-	
		女	122	11.17	130	17.57	2,703	13.74	553	9.03	3,508	12.66
		計	129		130		3,027		641		3,927	
	40～44	男	1	-	-	286	-	98	-	385	-	
		女	153	13.33	100	13.51	3,187	15.77	824	12.99	4,264	14.99
		計	154		100		3,473		922		4,649	
	45～49	男	1	-	-	161	-	76	-	238	-	
		女	171	14.89	98	13.24	2,588	12.48	854	13.11	3,711	12.73
		計	172		98		2,749		930		3,949	
	50～54	男	0	-	-	84	-	58	-	142	-	
		女	172	14.89	79	10.67	2,097	9.90	959	14.33	3,307	11.12
		計	172		79		2,181		1,017		3,449	
55～59	男	0	-	-	67	-	45	-	112	-		
	女	110	9.52	43	5.81	1,472	6.99	1,030	15.15	2,655	8.92	
	計	110		43		1,539		1,075		2,767		
60～64	男	0	-	-	44	-	43	-	87	-		
	女	46	3.98	31	4.19	1,001	4.74	828	12.27	1,906	6.43	
	計	46		31		1,045		871		1,993		
65～69	男	0	-	-	14	-	17	-	31	-		
	女	25	2.16	14	1.89	406	1.91	504	7.34	949	3.16	
	計	25		14		420		521		980		
70～74	男	0	-	-	2	-	8	-	10	-		
	女	4	0.35	4	0.54	141	0.65	205	3.00	354	1.17	
	計	4		4		143		213		364		
75～79	男	0	-	-	1	-	2	-	3	-		
	女	0	0.00	5	0.68	32	0.15	46	0.68	83	0.28	
	計	0		5		33		48		86		
80～84	男	0	-	-	0	-	2	-	2	-		
	女	0	0.00	1	0.14	10	0.05	5	0.10	16	0.06	
	計	0		1		10		7		18		
85歳以上	男	0	-	-	1	-	0	-	1	-		
	女	0	0.00	0	0.00	12	0.06	0	0.00	12	0.04	
	計	0		0		13		0		13		
平均年齢		男	32.1	-	-	36.9	-	43.0	-	38.4	-	
		女	42.7		41.2		41.2		50.4		43.4	
		計	42.5		41.2		40.9		49.7		43.0	

4 出身学校・養成所別

表12 出身養成所の種別でみた就業看護職員数

		大学院	大学	短大	専門学校 (養成所)	高校	その他	合計
保健師	県内校	12	261	20	427	3	34	757
	県外校	17	205	55	104	2	15	398
助産師	県内校	8	56	10	296	1	22	393
	県外校	16	62	82	148	0	39	347
看護師	県内校	69	1,157	438	13,224	523	534	15,945
	県外校	53	728	618	4,326	88	266	6,079
准看護師	県内校	1	4	95	4,419	480	638	5,637
	県外校	0	7	27	1,087	108	230	1,459
計	県内校	90	1,478	563	18,366	1,007	1,228	22,732
	県外校	86	1,002	782	5,665	198	550	8,283

表13 卒業年度別にみた就業看護職員数

	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
平成27年度以前	1,111	664	19,921	6,693	28,389
平成28年度	16	41	978	199	1,234
平成29年度	28	36	1,125	204	1,393

常磐大学大学院
看護学研究科看護学専攻（修士課程）
（仮称・令和 4 年 4 月開設予定・設置構想中）

「設置構想に係る採用意向アンケート調査」報告書

令和 3 年 2 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	8
	添付資料	18
	「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称） 設置構想に係る採用意向アンケート調査」用紙	

1 調査の概要

- ◆ 調査目的 : 本調査は、常磐大学大学院が令和4年4月に設置を構想している「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)」の修了生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関により、アンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆ 調査期間 : 令和2年12月～令和3年1月

- ◆ 調査対象 : 令和4年4月に設置を構想中の「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)」の修了生の採用が期待される茨城県を中心とした病院・医療施設・自治体・学校等の事業所の172件を対象とし、調査を依頼した。
依頼対象とした事業所は次の通りである。

1	病院	48件
2	訪問看護ステーション	51件
3	地方自治体	56件
4	看護専門学校	17件

- ◆ 調査方法 : 調査対象とした事業所の172件の採用担当者宛てに、「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)設置構想に係る採用意向アンケート調査」用紙を送付し、回答・返信を求めた。

- ◆ 調査内容 : 質問項目は全12問とし、主な質問内容は以下の通りである。
 - ・事業所の基本情報
 - ・常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の設置の社会的意義
 - ・常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の修了予定者の採用意向(人材需要)

- ◆ 回答件数 : 69件(配布件数172件/回収率40.1%)

- ◆ 有効回答件数 : 69件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比(%)」はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

2～7 ページは、アンケートで回答を得た 69 件の回答結果に基づく、全質問項目の集計結果である。

問 1 貴施設・貴機関の業種を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	病院	34	49.3%
2	訪問看護ステーション	8	11.6%
3	地方自治体	24	34.8%
4	看護専門学校	3	4.3%
5	その他	0	0.0%
合計		69	100.0%

問 2 貴施設・貴機関の所在地を教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	茨城県水戸市	5	7.2%
2	茨城県(県南地域)	25	36.2%
3	茨城県(県西地域)	13	18.8%
4	茨城県(水戸市以外の県央地域)	9	13.0%
5	茨城県(県北地域)	13	18.8%
6	茨城県(鹿行地域)	4	5.8%
7	茨城県以外	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		69	100.0%

問 3 貴施設・貴機関に従事する常勤の看護職員数の総計を教えてください。

(あてはまるものすべてにマークをしたあと、枠内に 2020 年 11 月 1 日現在の人数を記入)

※複数回答項目のため。回答数は延べ。

※構成比は、回答数 69 件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	看護師	47	68.1%
2	保健師	34	49.3%
3	助産師	13	18.8%
	無回答	13	18.8%

【看護師】

※回答数は19件

※記入のあった人数を以下の区分で集計

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0人	0	0.0%
2	1～10人	6	31.6%
3	11～50人	3	15.8%
4	51～100人	1	5.3%
5	101～300人	3	15.8%
6	301～500人	4	21.1%
7	501人以上	2	10.5%
合計		19	100.0%

【保健師】

※回答数は18件

※記入のあった人数を以下の区分で集計

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0人	0	0.0%
2	1～5人	9	50.0%
3	6～10人	1	5.6%
4	11～15人	3	16.7%
5	16～20人	4	22.2%
6	21人以上	1	5.6%
合計		18	100.0%

【助産師】

※回答数は5件

※記入のあった人数を以下の区分で集計

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0人	0	0.0%
2	1～19人	0	0.0%
3	20～30人	2	40.0%
4	31～50人	1	20.0%
5	50人以上	2	40.0%
合計		5	100.0%

問 4 貴機関・貴施設における、大学院修士課程修了の看護職者の勤務の有無について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大学院修士課程修了の看護職者が勤務している	15	21.7%
2	大学院修士課程修了の看護職者は勤務していない	45	65.2%
3	わからない	5	7.2%
	無回答	4	5.8%
合計		69	100.0%

問 5 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)が養成する人材は、これからの地域社会において必要であると思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

番号	選択項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	9	13.0%
2	必要だと思う	54	78.3%
3	あまり必要ではないと思う	3	4.3%
4	必要でないと思う	0	0.0%
	無回答	3	4.3%
合計		69	100.0%

問 6 貴施設・貴機関において、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)の修了生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	10	14.5%
2	採用を検討したい	27	39.1%
3	どちらともいえない	30	43.5%
4	採用しない	1	1.4%
	無回答	1	1.4%
合計		69	100.0%

問7・問8は、問6で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した37件が回答対象である。

問7 貴施設・貴機関では、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を修了した者のうち、どのような人材を採用したいですか。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答数37件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者	16	43.2%
2	地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者	25	67.6%
3	母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者	8	21.6%
4	小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者	13	35.1%
5	成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者	28	75.7%
6	認定看護管理者を目指す者	16	43.2%
7	精神看護専門看護師を目指す者	12	32.4%
8	小児看護専門看護師を目指す者	3	8.1%
9	教育研究者を目指す者	10	27.0%
	無回答	0	0.0%

問8 貴施設・貴機関において、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)を修了した者のうち、採用可能であると思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1人	5	13.5%
2	2人	1	2.7%
3	3人以上	2	5.4%
4	人数は未確定	29	78.4%
	無回答	0	0.0%
合計		37	100.0%

問 9 貴施設・貴機関で勤務される看護職者を常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)に進学させるご意向について教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	進学させたい	0	0.0%
2	進学を推奨するが、本人の意思に任せる	33	47.8%
3	進学を推奨する予定はない	15	21.7%
4	わからない	18	26.1%
5	その他	2	2.9%
	無回答	1	1.4%
合計		69	100.0%

問 10・問 11 は、問 9 で「1. 進学させたい」「2. 進学を推奨するが、本人の意思に任せる」と回答した 33 件が回答対象である。

問 10 貴施設・貴機関で勤務される看護職者についてお尋ねします。現在、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)に入学を推奨したい方の有無について教えてください。(あてはまるもの1つにマーク)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	現在、入学を推奨したい人がいる	9	27.3%
2	現在、入学を推奨したい人はいない	21	63.6%
	無回答	3	9.1%
合計		33	100.0%

問 11 貴施設・貴機関で勤務される看護職者を常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)に進学させる場合に取り得る支援体制について教えてください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※構成比は、回答数 33 件のうち、各項目を挙げた者の数。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	勤務の調整により入学させたい	21	63.6%
2	休職制度の利用により入学させたい	13	39.4%
3	研修制度の利用により入学させたい	8	24.2%
4	奨学金の支給により入学させたい	2	6.1%
5	特になし	2	6.1%
6	その他	2	6.1%
	無回答	1	3.0%

問 12 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称、設置構想中)に対して、ご要望や期待される点がありましたらご自由にお書きください。

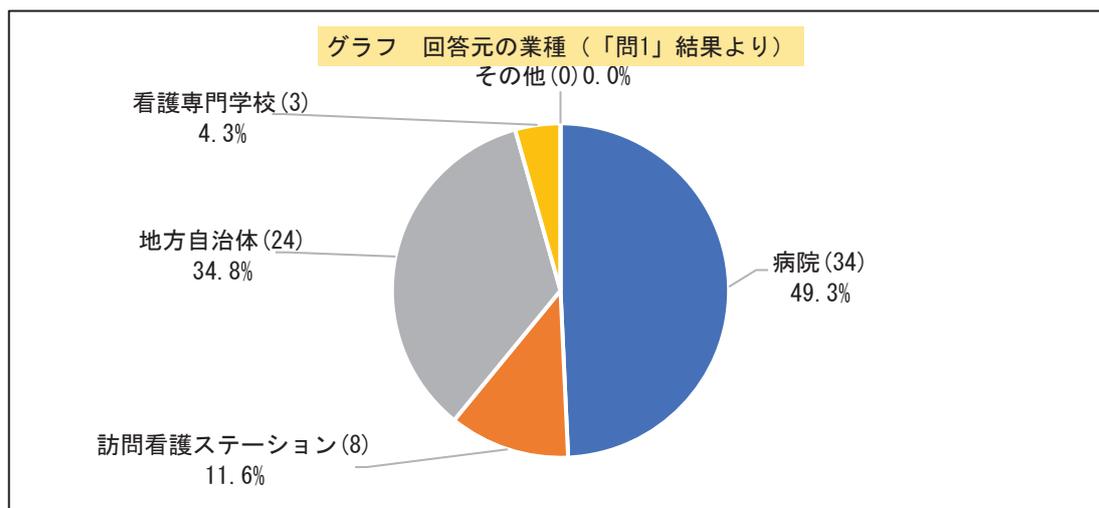
業種	記述内容
病院	勤務を続けながら学べる教育カリキュラムであると、施設にとっても助かります。
	看護の質の底上げには、絶対必要と感じています。しかし、経営に関する権限がなく、希望通りにいかない現状があり、そこが解決できれば、前向きに進められると思っています。
	問 1 については、授業実施時間によりどちらでも可能だと思う。 問 3 については、保健師としての採用ではなく看護師としての採用であるため、保健師を 0 にしてある。ただし、保健師資格保有者は 20 人程度いると思います。
	本人は大変だと思うが、休職をするのではなく、勤務を継続しながら修士がとれると良いと思う。(マンパワーの問題もあるが、勉学と臨床を行き来しながら学ぶことはどちらにとってもプラスになると考える)
	組織において信頼関係の構築とコミットメントできる人材育成を期待している。当院の場合、どちらかという臨床よりも教員に転職する方が多く、実践者リーダーの育成を要望する。
	看護師特定行為研修との連携が可能となることを期待します。
	WEB 講義を活用して頂きたい
	修士課程進学時の、経済面を含むサポート体制が整備されていない現状です。貴学および社会資源として活用できる制度等があれば、紹介、案内していただくと検討したいと感じました。
	公的病院に長く勤務し、現在は民間病院に勤務しております。転職した際に教育の有無によって看護レベルにも大きな差が生じると感じました。看護職の質の向上のためにもしっかりした教育機関の設立は大切と思います。
	臨床現場で活躍できる人材を育成して頂きたいです。理論を実践に活かす事が臨床では一番大切だと思っています。変わりゆく環境に柔軟かつ根柢を持って看護できる実践者の育成を期待しています。
訪問看護ステーション	当事業所の看護師は年齢層が高いため、進学については考えておりませんが、次の世代を考えると若い年代の人材が必要となります。常識が変化していく中で、対応力が必要と考えています。在宅は総合力も必要と思いますが、時に専門的な知識が必要な場面もあります。
	当事業所から通学には遠い。貴大学の様に学び修了した者の必要性は高いが隣県(市)で同じ様に大学で修士課程があるため職員の選択にゆだねる。
地方自治体	市町村保健師として特化した専門領域分野が即戦力になるかは疑問があります。生活の支援者として幅広い年代への対応、地域の環境整備など保健師の幅広い視点を持ち柔軟にそして戦略的に対応できる人材を求めます。
	小さな町では、どれだけ町民に寄り添えるかが求められる。 リーダー的存在や研究者としての活躍の場としては、ここではない気がします。
	職場内で、勤務しながら学べる体制や理解がととのっていないのが現状。直属の上司が学ばせたいと理解があっても難しい。
	現場の状況をよく把握して、実践に活かせる能力を期待します。
	茨城の将来を担う、高度な専門知識を持った、人材を養成していただきたいです。
	他大学で、修士課程をコースわけしているところがあるが、看護師コース、保健師コースとコースわけがあると、自治体では人材活用が図れる。

3 集計結果のポイント

※「構成比(%)」はいずれも、少数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

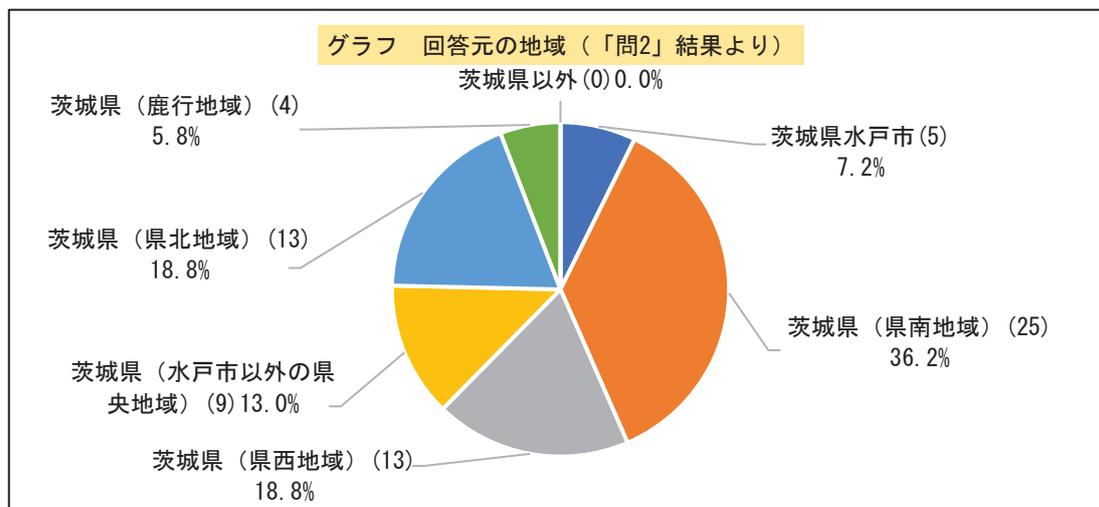
- 「病院」からの回答が多く 49.3%、「地方自治体」が 34.8%の回答。

問1の業種についての質問では、回答を得た69件のうち、「病院」が34件(49.3%)、「地方自治体」が24件(34.8%)、「訪問看護ステーション」が8件(11.6%)、「看護専門学校」が3件(4.3%)からの回答となった。



- 茨城県の「県南地域」が 36.2%、「県西地域」が 18.8%、「県北地域」が 18.8%

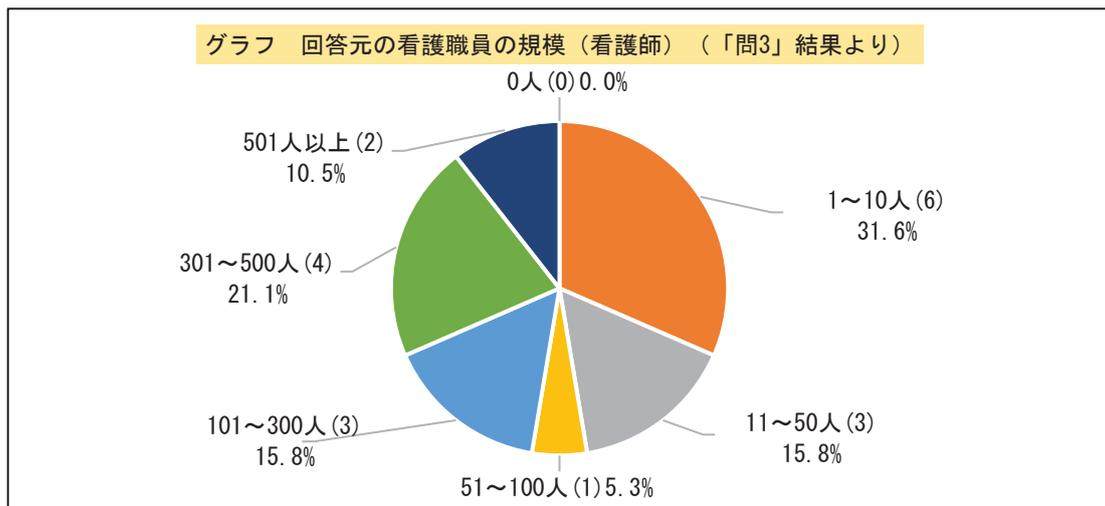
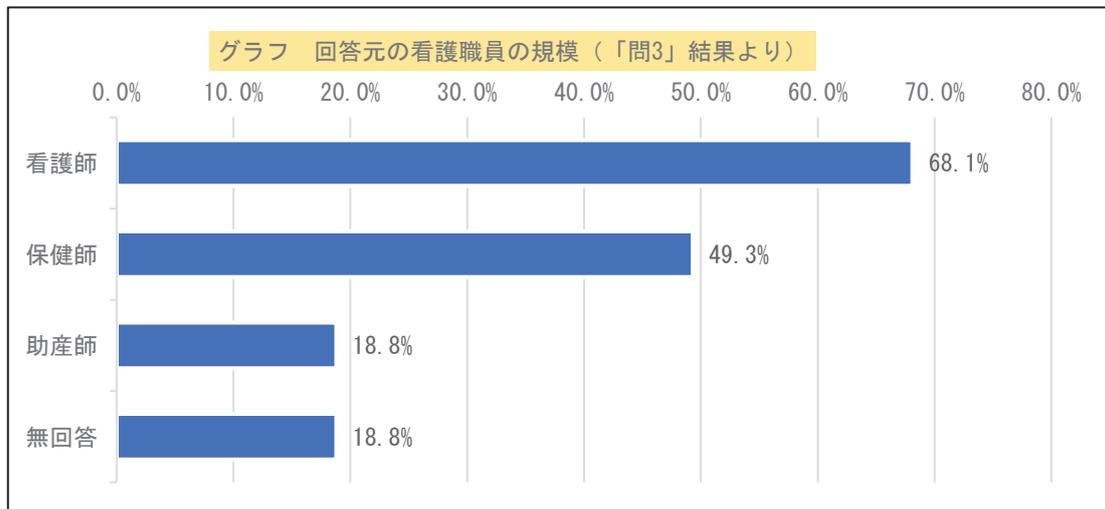
問2の地域についての質問では、回答を得た69件のうち、「茨城県(県南地域)」が25件(36.2%)、「茨城県(県西地域)」が13件(18.8%)、「茨城県(県北地域)」が13件(18.8%)、「茨城県(水戸市以外の県央地域)」が9件(13.0%)、「茨城県水戸市」が5件(7.2%)、「茨城県(鹿行地域)」4件(5.8%)からの回答となった。



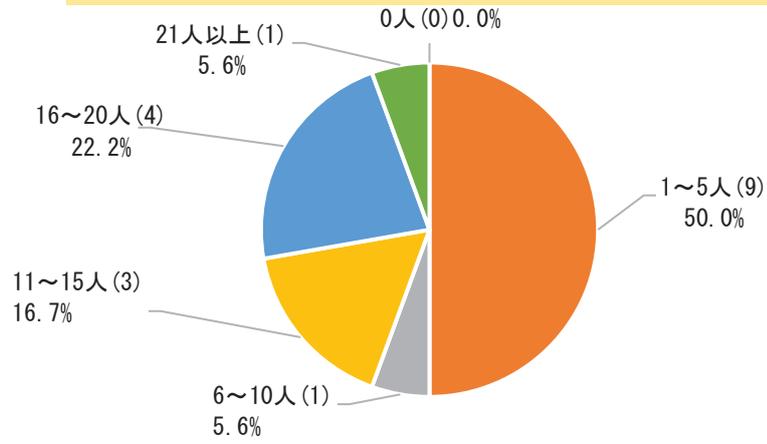
● 常勤の看護職員は、看護師が68.1%。保健師が49.3%であった。

問3の従事する常勤の看護職員数についての質問では、回答を得た69件のうち、「看護師」が47件(68.1%)、「保健師」34件(49.3%)、「助産師」13件(18.8%)となった。

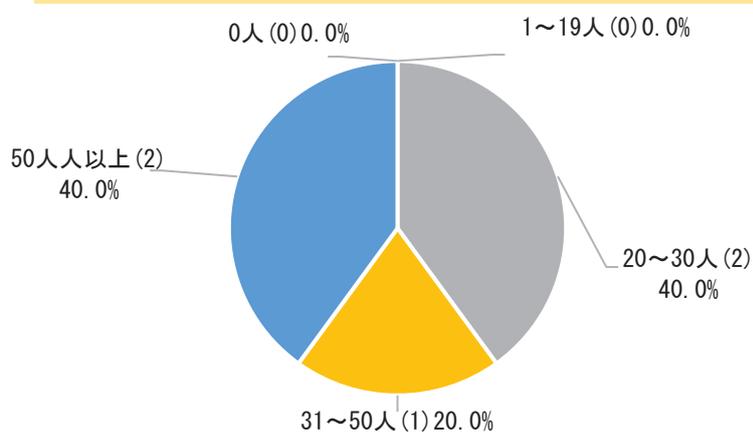
また、従事する看護職員(看護師、保健師、助産師)の総数を記述してもらい、一定の人数区分にて集計した。それぞれ、看護師は回答を得た19件のうち、「1~10人」が6件(31.6%)、「301~500人」が4件(21.1%)、「11~50人」が3件(15.8%)、「101~300人」3件(15.8%)、「501人以上」が2件(10.5%)、「51~100人」が1件(5.3%)、保健師は回答を得た18件のうち、「1~5人」が9件(50.0%)、「16~20人」が4件(22.2%)、「11~15人」が3件(16.7%)、「6~10人」が1件(5.6%)、「21人以上」が1件(5.6%)、助産師は回答を得た5件のうち、「20~30人」が2件(40.0%)、「50人以上」が2件(40.0%)、「31~50人」が1件(20.0%)となった。(※複数選択可)



グラフ 回答元の看護職員の規模（保健師）（「問3」結果より）

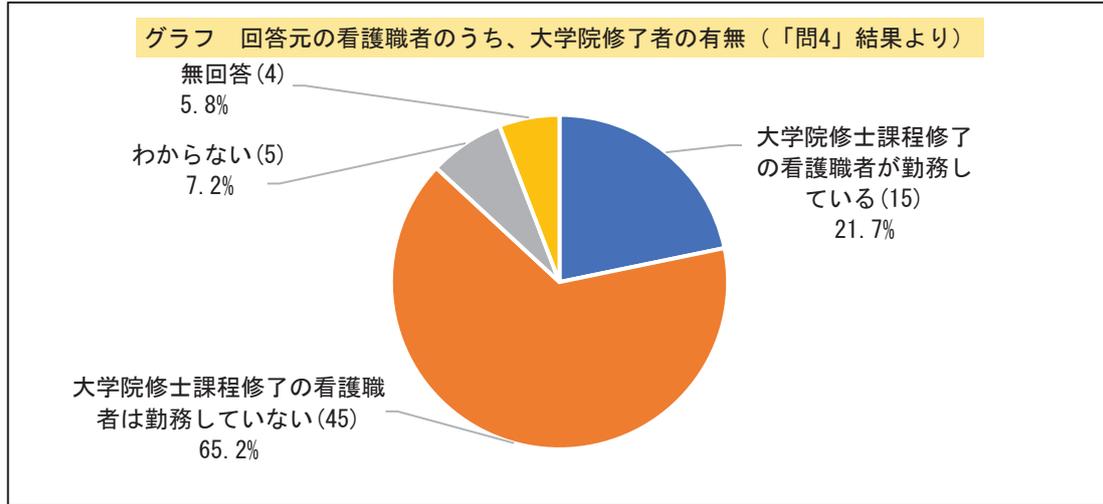


グラフ 回答元の看護職員の規模（助産師）（「問3」結果より）



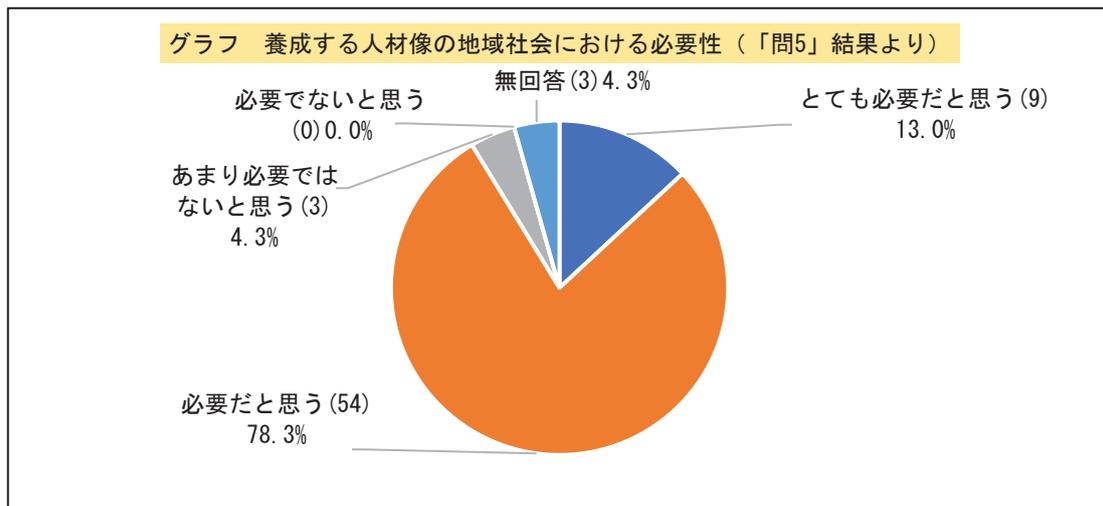
● 大学院修了をした看護職者の従事者について、6割が勤務していないと回答

問4の従事する看護職者の大学院修士課程の修了者の有無についての質問では、回答を得た69件のうち、「大学院修士課程修了の看護職者は勤務していない」が45件(65.2%)、「大学院修士課程修了の看護職者が勤務している」が15件(21.7%)、「わからない」が5件(7.2%)となった。



● 養成する人材像について、9割以上が地域社会に「必要性がある」と回答

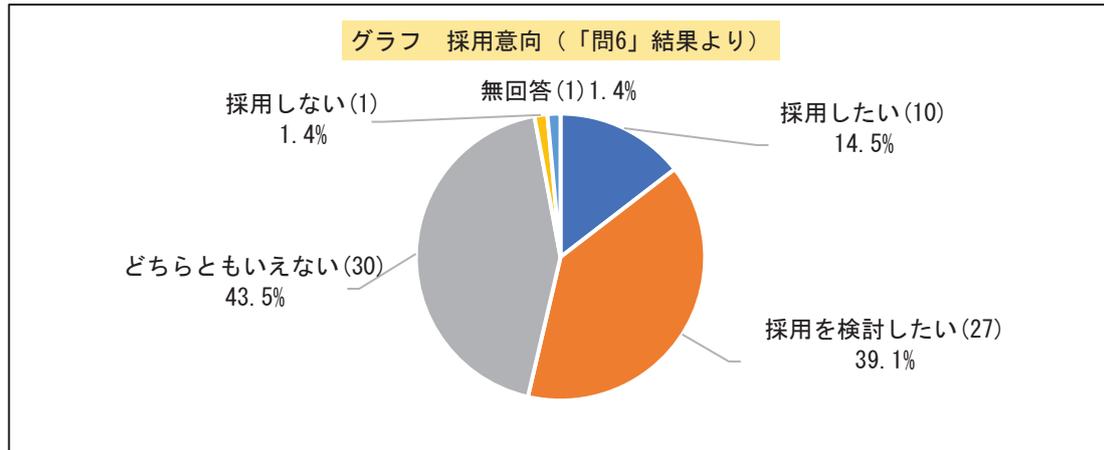
問5の常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻(修士課程) (仮称)」の養成する人材が、地域社会において必要であるかの質問では、回答を得た69件のうち、「とても必要だと思う」が9件(13.0%)、「必要だと思う」が54件(78.3%)と、9割以上が必要性を示した。また、「あまり必要ではないと思う」が3件(4.3%)、「必要でないと思う」が0件であった。



● 5割以上が、「採用したい」・「採用を検討したい」と採用の意欲を示す

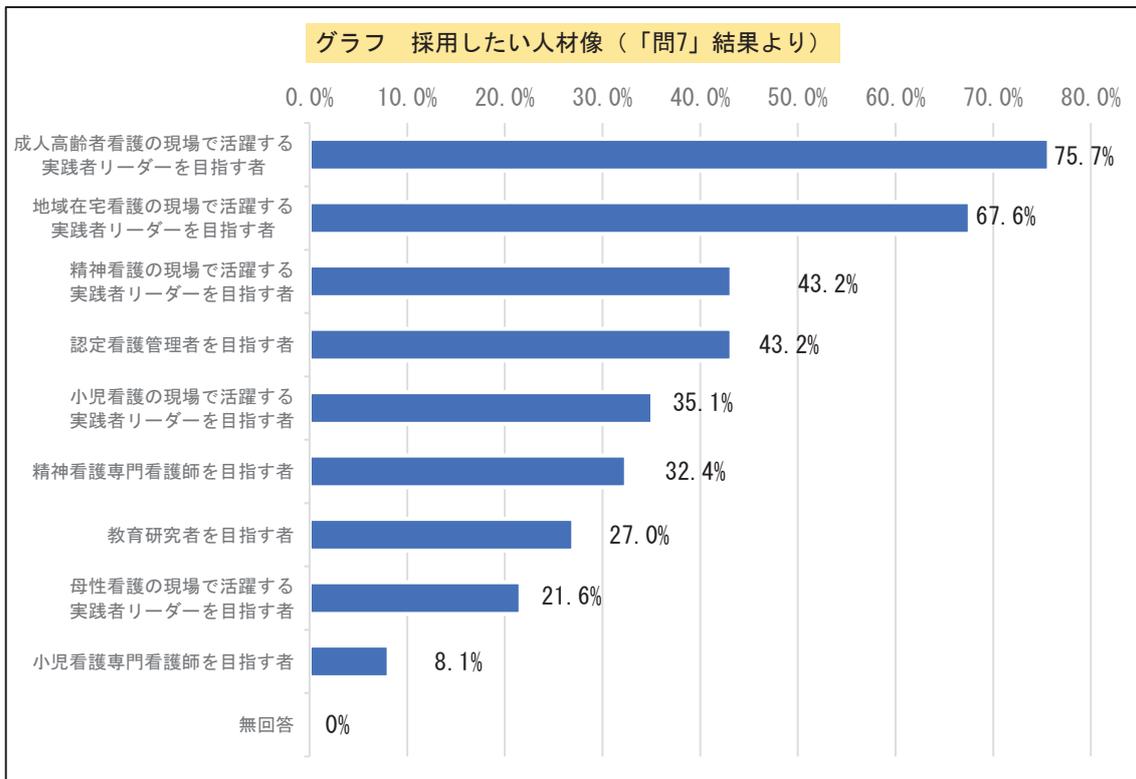
問6の常磐大学大学院の「看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)」の修了生の採用意欲についての質問では、回答を得た69件のうち、「採用したい」が10件(14.5%)、「採用を検討したい」が27件(39.1%)と、5割以上が採用の意欲を示した。また、「どちらともいえない」が30件(43.5%)、「採用しない」が1件(1.4%)であった。

なお、採用の意欲を示した37件の業種の内訳は、「病院」が26件、「訪問看護ステーション」が5件、「地方自治体」が6件であった。



● 「成人高齢者看護」「地域在宅看護」の現場で活躍する実践者リーダーを重視

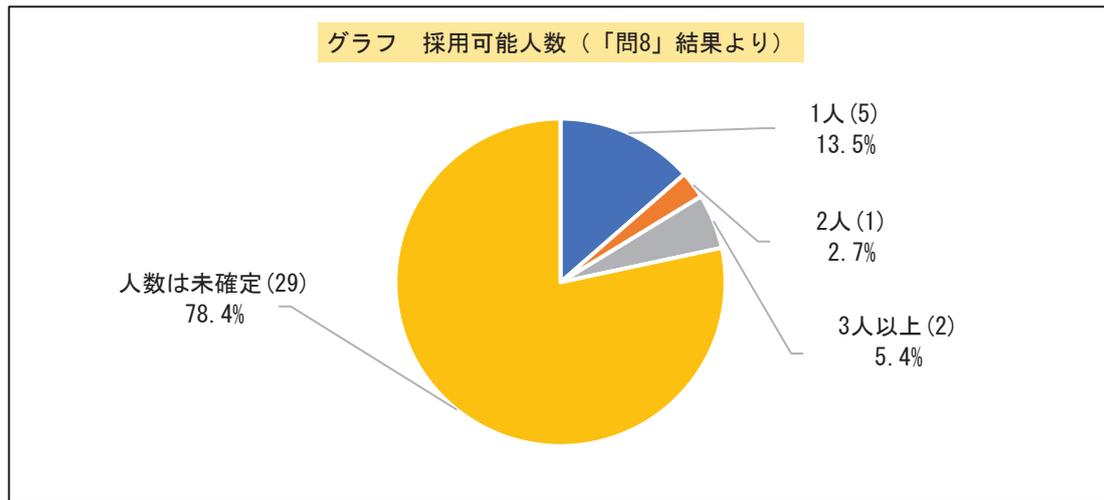
問7では、問6の本研究科の修了生の採用の意欲を示した「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した37件のうち、本研究科の修了生のどのような人材を採用したいかの質問では、回答の多い順に「成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者」が28件(75.7%)、「地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者」が25件(67.6%)、「精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者」が16件(43.2%)、「認定看護管理者を目指す者」16件(43.2%)、「小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者」13件(35.1%)、「精神看護専門看護師を目指す者」12件(32.4%)、「教育研究者を目指す者」10件(27.0%)、「母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者」8件(21.6%)、「小児看護専門看護師を目指す者」が3件(8.1%)であった。(※複数選択可)



● 37件が採用意欲を示し、採用可能人数は 42 人

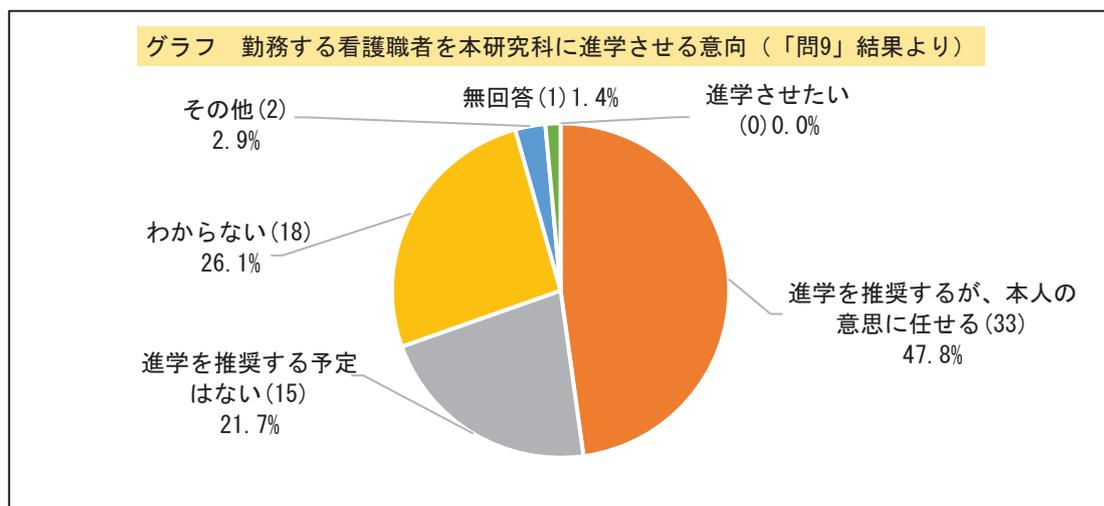
問 8 では、問 6 の本研究科の修了生の採用の意欲を示した「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した 37 件のうち、本研究科の修了生の採用可能人数を問う質問では、「1 人」が 5 件、「2 人」が 1 件、「3 人以上」が 2 件、「人数は未確定」が 29 件であった。

採用可能人数は合計 42 人（「人数は未確定」は 1 人、「3 人以上」は 3 人として集計）となり、常磐大学大学院が構想中の看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）が予定する入学定員 6 名を大きく上回る結果を得られた。



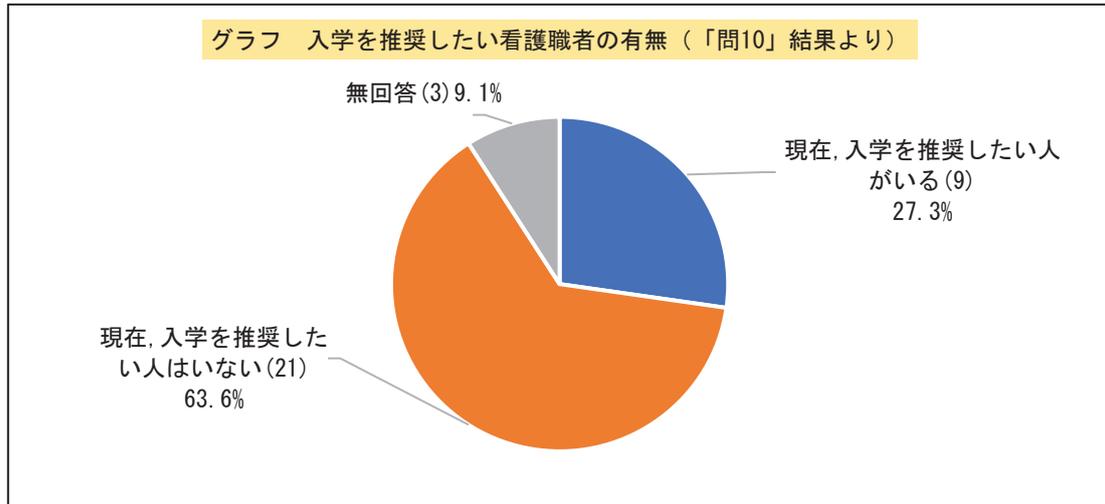
● 「進学を推奨するが、本人の意思に任せる」が、約 5 割

問 9 では、勤務する看護職者を本研究科に進学させる意向の質問に対し、回答を得た 69 件のうち、「進学を推奨するが、本人の意思に任せる」が 33 件(47.8%)と約 5 割であった。その他の回答は、「進学させたい」が 0 件、「進学を推奨する予定はない」が 15 件(21.7%)、「わからない」が 18 件(26.1%)、「その他」が 2 件(2.9%)であった。



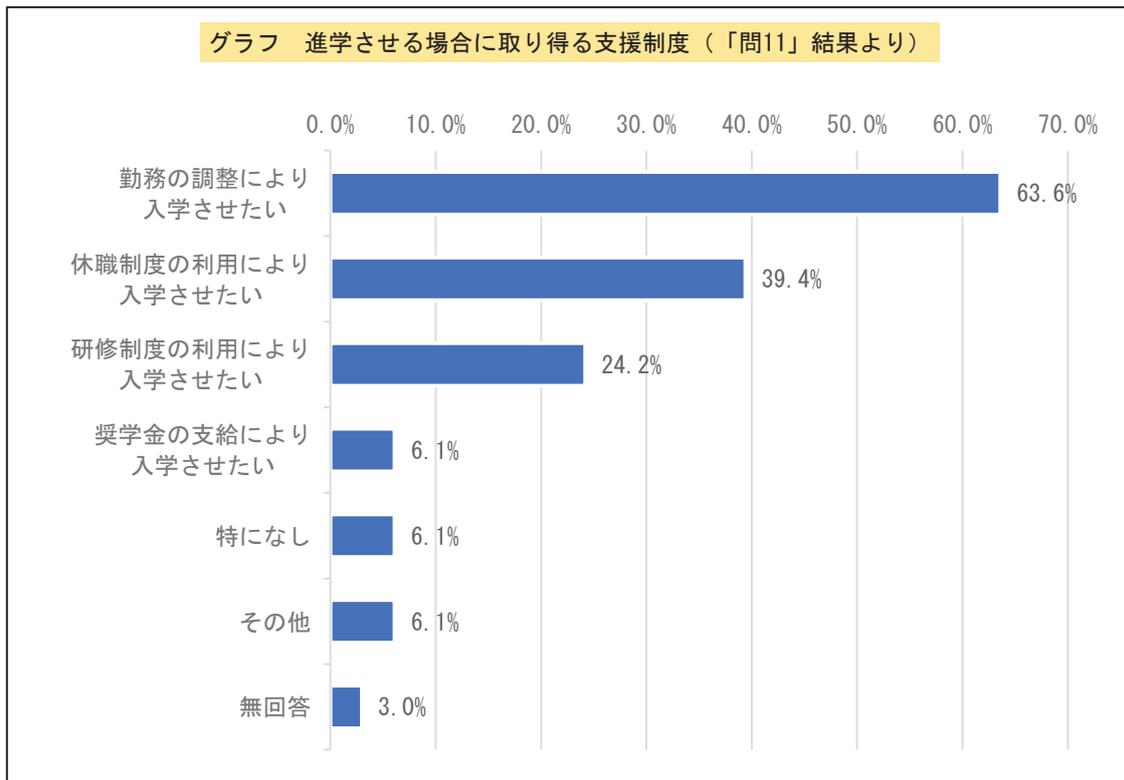
● 「現在、入学を推奨したい看護職者がいる」が、約 3 割

問 10 では、問 9 の勤務する看護職者を本研究科に進学させる意向で、「進学を推奨するが、本人の意思に任せる」と回答した 33 件のうち、本研究科に入学を推奨したい看護職者の有無についての質問では、「現在、入学を推奨したい人がいる」9 件(27.3%)、「現在、入学を推奨したい人はいない」が 21 件(63.6%)であった。



● 「勤務の調整により入学させたい」が、約 4 割

問 11 では、問 9 の勤務する看護職者を本研究科に進学させる意向で、「進学を推奨するが、本人の意思に任せる」と回答した 33 件のうち、進学させる場合に取り得る支援体制についての質問では、「勤務の調整により入学させたい」が 21 件(63.6%)、「休職制度の利用により入学させたい」が 13 件(39.4%)、「研修制度の利用により入学させたい」が 8 件(24.2%)、「奨学金の支給により入学させたい」が 2 件(6.1%)、「特になし」が 2 件(6.1%)、「その他」が 2 件(6.1%)であった。(※複数選択可)



業種別（問1）の採用の意欲（問6）を示した、採用可能人数（問8）のクロス集計の結果は、以下の通りである。

	業種	病院		訪問看護 ステーション		地方自治体		看護専門学校		合計
		採用し たい	採用を 検討し たい	採用し たい	採用を 検討し たい	採用し たい	採用を 検討し たい	採用し たい	採用を 検討し たい	
採用意向	採用の意欲									
	事業所の合計	6	20	1	4	3	3	0	0	37
採用可能人数	1人	0	2	1	1	1	0	0	0	5
	2人	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	3人以上	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	人数は未確定	5	16	0	3	2	3	0	0	29
	採用可能人数	8	23	1	4	3	3	0	0	42

※「人数は未確定」は「1人」、「3人以上」は「3人」として集計

以上の結果より、常磐大学大学院が令和4年4月に設置構想する「看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）」の人材需要の見通しは、37事業所（53.6%）が採用の意欲を示し、採用可能人数を乗じた合計は42人であり、予定する入学定員の6名を大きく上回る採用の意欲・人数が示される回答を得た結果であるため、問題なしと判断できる。

添付資料

「常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程) (仮称)
設置構想に係る採用意向アンケート調査」用紙

常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称）

2022年4月に向け設置構想中



設置構想に係る採用意向アンケート調査

常磐大学大学院では、2022年4月に、看護学研究科看護学専攻 修士課程（仮称）の設置を構想しております。本学では、このアンケート調査を通して、将来、修了生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材を輩出してまいりたいと考えております。なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、設置に係る統計資料並びに文部科学省への設置認可申請書類の一部資料としてのみ活用いたします。何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は、常磐大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。



問1 貴施設・貴機関の業種を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 病院 訪問看護ステーション 地方自治体
 看護専門学校 その他

問2 貴施設・貴機関の所在地を教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 茨城県水戸市 茨城県（県南地域） 茨城県（県西地域） 茨城県（水戸市以外の県央地域）
 茨城県（県北地域） 茨城県（鹿行地域） 茨城県以外 都道府県

問3 貴施設・貴機関に従事する常勤の看護職員数の総計を教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしたあと、枠内に2020年11月1日現在の人数を記入）

- 看護師 人 保健師 人 助産師 人

問4 貴機関・貴施設における、大学院修士課程修了の看護職者の勤務の有無について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 大学院修士課程修了の看護職者が勤務している 名が勤務中
 大学院修士課程修了の看護職者は勤務していない
 わからない

問5 以降にお答えいただく前に、設置構想中の「常磐大学大学院看護学研究科修士課程（仮称）」の資料をご覧ください。

問5 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）が養成する人材は、これからの地域社会において必要であると思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- とても必要だと思う 必要だと思う あまり必要ではないと思う 必要でないと思う

問6 貴施設・貴機関において、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）の修了生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 採用したい ⇒問7へお進みください
 採用を検討したい ⇒問7へお進みください
 どちらともいえない ⇒問9へお進みください
 採用しない ⇒問9へお進みください

質問は次ページに続きます。





問 7 貴施設・貴機関では、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を修了した者のうち、どのような人材を採用したいですか。（あてはまるものすべてにマーク）

- 精神看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者
- 地域在宅看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者
- 母性看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者
- 小児看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者
- 成人高齢者看護の現場で活躍する実践者リーダーを目指す者
- 認定看護管理者を目指す者
- 精神看護専門看護師を目指す者
- 小児看護専門看護師を目指す者
- 教育研究者を目指す者

問 8 貴施設・貴機関において、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）を修了した者のうち、採用可能であると思われる人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1人
- 2人
- 3人以上
- 人数は未確定

問 9 貴施設・貴機関で勤務される看護職者を常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）に進学させるご意向について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 進学させたい
- 進学を推奨するが、本人の意思に任せる
- 進学を推奨する予定はない ⇒問12へお進みください
- わからない ⇒問12へお進みください
- その他 ⇒問12へお進みください

問 10 貴施設・貴機関で勤務される看護職者についてお尋ねします。現在、常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）に入学を推奨したい方の有無について教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 現在、入学を推奨したい人がいる（枠内におおよその人数をお書きください） 人
- 現在、入学を推奨したい人はいない

問 11 貴施設・貴機関で勤務される看護職者を常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）に進学させる場合に取り得る支援体制について教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 勤務の調整により入学させたい
- 休職制度の利用により入学させたい
- 研修制度の利用により入学させたい
- 奨学金の支給により入学させたい
- 特になし
- その他

問 12 常磐大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称、設置構想中）に対して、ご要望や期待される点がありましたらご自由にお書きください。

